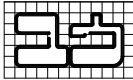


(図面リスト)

図面番号	建築図面名称	縮尺	図面番号	電気設備図面名称	縮尺	図面番号	機械設備図面名称	縮尺
A-01	図面リスト		E-01	電気設備特記仕様書 (1)		M-01	機械設備工事特記仕様書 (1)	
A-02	特記仕様書 (1)		E-02	電気設備特記仕様書 (2)		M-02	機械設備工事特記仕様書 (2)	
A-03	特記仕様書 (2)		E-03	案内図・配置図	S = 1/200	M-03	機械設備工事特記仕様書 (3)	
A-04	特記仕様書 (3)		E-04	1 階平面図 (電機設備図)	S = 1/100	M-04	案内図・配置図	S = 1/200
A-05	特記仕様書 (4)		E-05	2 階平面図 (電機設備図)	S = 1/100	M-05	1 階平面図 (機械設備図)	S = 1/100
A-06	特記仕様書 (5)		E-06	照明器具姿図		M-06	2 階平面図 (機械設備図)	S = 1/100
A-07	特記仕様書 (6)					M-07	既存浄化槽図 (参考図)	
A-08	特記仕様書 (7)					M-08	既存浄化槽保護コンクリート図 (参考図)	
A-09	特記仕様書 (8)					M-09	既存浄化槽囲い壁図 (参考図)	
A-10	特記仕様書 (9)							
A-11	特記仕様書 (10)							
A-12	特記仕様書 (11)							
A-13	工事概要							
A-14	案内図・配置図	S = 1/200						
A-15	1 階平面図	S = 1/100						
A-16	2 階平面図	S = 1/100						
A-17	立面図 (1)	S = 1/100						
A-18	立面図 (2)	S = 1/100						
A-19	建具表 (参考図)							
A-20	矩計図 (参考図)							
A-21	ガスボンベ置き場	S = 1/30						
A-22	詳細図 (駐輪場)	S = 1/30						
A-23	仮設計画平面図	S = 1/250						



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第 203776 号 荒井 恭一

市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

図面リスト

年 月 日

2026. 2

N0 A-01

[illegible]

防水改修工事	○11 とい	といその他の材種 ○配管用銅管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ○ルーフトレン ○表面処理鋼板 ○ ルーフトレンの種類及び呼び <table><thead><tr><th>種別</th><th>呼び</th><th>施工箇所</th></tr></thead><tbody><tr><td>○ろく屋根用たて形Ⅰ型</td><td>窓ねじ込み式</td><td>○80 ○100 ○125 ○150</td><td></td></tr><tr><td>○ろく屋根用模形Ⅰ型</td><td>窓ねじ込み式</td><td>○80 ○100 ○125 ○150</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">○バルコニー中継用</td><td>窓ねじ込み式</td><td>○50 ○80 ○100</td><td></td></tr><tr><td>○差し込み式</td><td>○50 ○75 ○100</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">○バルコニー用</td><td>窓ねじ込み式</td><td>○50 ○80 ○100</td><td></td></tr><tr><td>○差し込み式</td><td>○50 ○75 ○100</td><td></td></tr></tbody></table> とい受金物の材種、形状及び取付け間隔 窓改修標準仕様書表3.8.2による ○ 足金物の材種、形状及び取付け間隔 窓改修標準仕様書表3.8.2による ○ 多雪地域の場合の軒どいの取付け間隔 窓0.5mm 以下 防露材のホルムアルデヒド放散量 窓F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去、降雨等に対する養生方法 窓図示 ○ 銅管製といの防露巻き 窓改修標準仕様書表3.8.4による ○ たてどい受金物の取付け 窓図示 ○ ルーフトレンの取付け 窓水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填 [3.8.2、3][表3.8.1]	種別	呼び	施工箇所	○ろく屋根用たて形Ⅰ型	窓ねじ込み式	○80 ○100 ○125 ○150		○ろく屋根用模形Ⅰ型	窓ねじ込み式	○80 ○100 ○125 ○150		○バルコニー中継用	窓ねじ込み式	○50 ○80 ○100		○差し込み式	○50 ○75 ○100		○バルコニー用	窓ねじ込み式	○50 ○80 ○100		○差し込み式	○50 ○75 ○100		○シール工法 ○パテ状エポキシ樹脂 ○可とう性エポキシ樹脂 [4.1.4][4.2.4、8] 充填工法 ○エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表(改修)による)	○3 ひび割れ部改修工法	標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 見本焼き ○行う(施工箇所:) ○行わない 試験張り ○行う(範囲、仕様等は図示による) ○行わない [4.1.4][4.4.5、6] 改修箇所 窓既存タイル張り面 窓既存タイル撤去面(○コンクリート面 ○モルタル面) ○樹脂注入工法 <table><thead><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量 (mL/m)</th></tr></thead><tbody><tr><td>窓自動式低圧1* 杉樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0 未満</td><td>窓200～300 ○</td><td>○130 ○</td></tr><tr><td rowspan="2">○手動式1* 杉樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3 未満</td><td>○50 ～100 ○</td><td>○40 ○</td></tr><tr><td>0.3以上～0.5 未満</td><td>○100～200 ○</td><td>○70 ○</td></tr><tr><td rowspan="2">○機械式1* 杉樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0 未満</td><td>○150～250 ○</td><td>○130 ○</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td>○</td></tr></tbody></table> 注入状況の確認方法 窓コアの抜取りを行う ○行わない 抜取り個数(窓長さ500mごと及びその端数につき1個 ○) 抜取り部の補修方法 窓図示 ○ ○4 欠損部改修工法 ○タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ○ポリマーセメントモルタル (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表(改修)による) ○外壁タイル接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ○タイル張替え工法 張替え用材料 ○外壁タイル接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ○張付けモルタル ○現場調査材料 ○既製調合モルタル 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 窓改修標準仕様書表4.4.2による ○図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験 ○行う ○行わない ○セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ○目尻し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 ○外装タイル ○密着張り ○改良圧着張り ○ユニットタイル ○マスキ張り ○モザイクタイル張り シーリング 改修標準仕様書3章7節による ○有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ○目尻し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による) ○ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 窓ポリウレタン系シーリング材 ○ 伸縮調整目地その他の目地 窓変成シリコーン系シーリング材 ○ シーリングのその他の事項は、改修標準仕様書3章7節による 目地詰め(窓行う ○行わない)	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)	窓自動式低圧1* 杉樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	窓200～300 ○	○130 ○	○手動式1* 杉樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	○50 ～100 ○	○40 ○	0.3以上～0.5 未満	○100～200 ○	○70 ○	○機械式1* 杉樹脂注入工法	0.5以上～1.0 未満	○150～250 ○	○130 ○		○	○	○有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り 下地調整材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ○目尻し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による) ○ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 窓ポリウレタン系シーリング材 ○ 伸縮調整目地その他の目地 窓変成シリコーン系シーリング材 ○ シーリングのその他の事項は、改修標準仕様書3章7節による 目地詰め(窓行う ○行わない) ○6 目地改修工法 ○目地ひび割れ部改修工法 ○伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 窓図示 ○ シーリングは、改修標準仕様書3章7節による [4.1.4][4.4.5、16]
	種別	呼び	施工箇所																																																		
○ろく屋根用たて形Ⅰ型	窓ねじ込み式	○80 ○100 ○125 ○150																																																			
○ろく屋根用模形Ⅰ型	窓ねじ込み式	○80 ○100 ○125 ○150																																																			
○バルコニー中継用	窓ねじ込み式	○50 ○80 ○100																																																			
	○差し込み式	○50 ○75 ○100																																																			
○バルコニー用	窓ねじ込み式	○50 ○80 ○100																																																			
	○差し込み式	○50 ○75 ○100																																																			
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)																																																		
窓自動式低圧1* 杉樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	窓200～300 ○	○130 ○																																																		
○手動式1* 杉樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	○50 ～100 ○	○40 ○																																																		
	0.3以上～0.5 未満	○100～200 ○	○70 ○																																																		
○機械式1* 杉樹脂注入工法	0.5以上～1.0 未満	○150～250 ○	○130 ○																																																		
		○	○																																																		
○12 アルミニウム製 笠木	種類 ○押出形 (○押出250形 ○押出300形 ○押出350形) ○板材折曲げ形(○ オープン形式 ○ シール形式) 本体幅()mm 板厚(窓2.0mm ○mm) 表面処理 種別()種 色合 ○標準色() ○特注色() 既存笠木等の撤去 ○行う(範囲 ○図示 ○行わない) 下地補修の工法 窓図示 ○ 板材折曲げ形の笠木の取付方法 窓図示 ○ 笠木の固定金具の工法等 1-4 適用区分による風圧力の(○1 ○1.15 ○1.3) 倍の風圧力に対応した工法 [3.9.2、3][表3.9.1]	○充填工法 ○エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表(改修)による) ○モルタル塗替え工法 ○現場調査材料 セメントは、改修標準仕様書8.2.5による ○既調合材料() 既製目地材 ○使用する(形状 ○図示 ○) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 窓図示 ○ ○4 浮き部改修工法 ○アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ○アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ○アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 ○注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ○注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ○注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 ○充填工法 ○モルタル塗替え工法 アンカーピンの材質 窓ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ○ 注入口付アンカーピンの材質 窓ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度 ○ 注入工法用材料 ○ポリマーセメントスラリー <table><thead><tr><th>広がり速度 (cm/s)</th><th>長さ変化率 (収縮) (%)</th><th>引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)</th><th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)</th><th>吸水性 (72時間) (%)</th><th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)</th></tr></thead><tbody><tr><td>3以上</td><td>3以下</td><td>0.5以上</td><td>5.0以上</td><td>15以下</td><td>5.0以上</td></tr></tbody></table> 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 充填工法用材料 ○エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表(改修)による) モルタル塗替え工法用材料 ○現場調査材料 セメントは、改修標準仕様書8.2.5による ○既調合材料() 既製目地材 ○使用する(形状 ○図示 ○) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 窓図示 ○ ○3 欠損部改修工法 ○充填工法 ○エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表(改修)による) ○モルタル塗替え工法 セメントは、改修標準仕様書8.2.5による ○既調合材料() 既製目地材 ○使用する(形状 ○図示 ○) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 窓図示 ○ ○4 浮き部改修工法 ○アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ○アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ○アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 ○注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ○注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ○注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 ○充填工法 ○モルタル塗替え工法 アンカーピンの材質 窓ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ○ 注入口付アンカーピンの材質 窓ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度 ○ 注入工法用材料 ○ポリマーセメントスラリー <table><thead><tr><th>広がり速度 (cm/s)</th><th>長さ変化率 (収縮) (%)</th><th>引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)</th><th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)</th><th>吸水性 (72時間) (%)</th><th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)</th></tr></thead><tbody><tr><td>3以上</td><td>3以下</td><td>0.5以上</td><td>5.0以上</td><td>15以下</td><td>5.0以上</td></tr></tbody></table> 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 充填工法用材料 ○エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表(改修)による) モルタル塗替え工法用材料 ○現場調査材料 セメントは、改修標準仕様書8.2.5による ○既調合材料() 既製目地材 ○使用する(形状 ○図示 ○) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 窓図示 ○ ○4 浮き部改修工法 ○アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ○アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ○アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 ○注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ○注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ○注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 ○充填工法 ○モルタル塗替え工法 アンカーピンの材質 窓ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ○ 注入口付アンカーピンの材質 窓ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度 ○ 注入工法用材料 ○ポリマーセメントスラリー <table><thead><tr><th>広がり速度 (cm/s)</th><th>長さ変化率 (収縮) (%)</th><th>引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)</th><th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)</th><th>吸水性 (72時間) (%)</th><th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)</th></tr></thead><tbody><tr><td>3以上</td><td>3以下</td><td>0.5以上</td><td>5.0以上</td><td>15以下</td><td>5.0以上</td></tr></tbody></table> 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 充填工法用材料 ○エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表(改修)による) モルタル塗替え工法用材料 ○現場調査材料 セメントは、改修標準仕様書8.2.5による ○既調合材料() 既	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上															
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)																																																
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上																																																
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)																																																
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上																																																
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)																																																
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上																																																

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

3

防水改修工事

アスファルト防水

《乾式保護材》
《品質・性能》

分類・規格	・窯業系 パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	・窯業系 パネルⅡ類 (一般的な仕様)	・金属複合板
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1% 外観 割れ、貫通、き裂がない。欠け、わじれ、そり、異物の混入、汚れ、はく離など使用上支障がない。		
含水率	出荷時において10%以下		
曲げ強さ・曲げモーメント ($\Delta W>40\text{cm}$ における 単位幅1cmあたりの 曲げモーメント)	標準時 550N・cm以上 凍結融解完了時 400N・cm以上 (300)	450N・cm以上 320N・cm以上 (200)	300N・cm以上 250N・cm以上 (300)
吸水率（%）	20以下	20以下	1以下
吸水による長さ変化率（%）	0.07以下	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能	300 \varnothing 1/2後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	200 \varnothing 1/2後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300 \varnothing 1/2後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 (明らかに吸水しないのは耐凍結融解試験を省略できる。)
耐衝撃性能	質量1,000gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。 残留変形量1/100以下 80000N・cm ² 以上
剛性（E×I） (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)			

《試験方法》
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めたパネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級ツルツル型または、JIS B 7516「金属製直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。
幅及び厚さは、製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前と同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。
(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)
なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。
(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40 mm×長さ160 mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出しJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140 mmになるように標線を刻む。その後、1/150 mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立して、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。
吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。
(ΔL)＝(L2－L1)／L1×100 ΔL：吸水による長さ変化率(%)
L1：乾燥時の標線間の長さ(mm) L2：吸水時の標線間の長さ(mm)
(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。
(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)
凍結融解操作の試験条件は、試験片の切手小断面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で約2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。
(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持法による。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W-1000)、質量1000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ表面に達する穴の有無を確認する。金属複合板の残留変形量は最大くぼみ深さを測定する。

4

外装改修工事
共通事項

ボリマーセメントモルタル

《ボリマーセメントモルタル》
《品質・性能》

項 目	品 質 ・ 性 能
だ れ	下がり量(mm) 5以内 表面の状態 ひびわれの発生が無いこと。
曲げ強さ(N/mm ²)	6.0以上
圧縮強さ(N/mm ²)	20.0以上
接着強さ(N/mm ²)	標準条件 1.0以上 特殊条件 0.8以上 湿潤時 0.5以上 低温時
透 水 性	裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。
そ の 他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子マキシは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。

《試験方法》
(1) だれの試験方法は、JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N300の表面をワイヤブラシ等で清浄し、その上に厚さ10mm、幅100mm、長さ50mmの寸法にボリマーセメントモルタルを塗り付け、塗り付け開始から5分後に、平らにおかれたいた平板を直角に立て起し、そのままでの状態で静置する。24時間後のボリマーセメントモルタルの変形状態を観測し、その形状の異常の有無とだれ長さを測定する。
(2) 曲げ強さ、圧縮強さの試験方法は、JIS A 1171「ボリマーセメントモルタルの試験方法」の7.3による。
(3) 接着強さの試験方法は、JIS A 5371に規定する普通平板N300の表面をワイヤブラシ等で清浄し、その上に厚さ10mmになるようボリマーセメントモルタルを塗り、14日経過した後に、その上面に縦40mm、厚さ10mmの鉄片を張り付けて単軸引張り強さを加える。最大荷重(P)を断面積(A)で除し、接着強さを求める。

一級建築士事務所
千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第203776号 荒 井 恭 一

市営住宅
千田黒潮団地屋根等
改修工事
設計図面

特記仕様書（9）

年 月 日
2026.2

NO A-10

床
点
検
口

（床点検口）
（品質・性能）
材質

項	目	材 質 等	
屋 外 用		〔アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材の場合〕	
	材質	JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出型材」に規定するA6063S-T5、またはこれと同等の性能を有するもの。	
	表面処理	JIS H 8602「アルミニウムの及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合被膜」のB又はJIS H 8601「アルミニウムの及びアルミニウム合金の陽極酸化被覆」に規定するAA15、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。	
		〔ステンレス鋼板の場合〕	
	材質	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1またはこれらと同等の性能を有するもの。	
	屋 内 用		〔アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材の場合〕
		材質	屋内外用に同じ。ただし、その他の構成材（底板、補強材、コーナーピース等）は、屋内用の材質のものとする。
		表面処理	屋内外用に同じ。
			〔ステンレス鋼板の場合〕
		材質	屋内外用に同じ。
		〔鋼板の場合〕	
材質		鋼板又はJIS G 3313「電気重鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板にメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理を行ったもの。	
防錆処理		JIS G 3313または鋼板等に標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの。	
ニ 重 塗 の 場 合 の 中 蓋 用			〔アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材の場合〕
		材質	屋内外用または屋内用に同じ。
	防錆処理	屋内外用または屋内用に同じ。	
		〔ステンレス鋼板の場合〕	
	材質	屋内外用または屋内用に同じ。	
		〔鋼板の場合〕	
	材質	屋内外用に同じ。	
	防錆処理	屋内用に同じ。	
		〔鉄鉄製の場合〕	
	材質	JIS G 5501「ねずみ錆鉄品」に規定するFC150、FC200。	
目 地 材		〔上記以外の場合〕	
	材質	塩化ビニル樹脂製等	
		〔黄銅製の場合〕	
	材質	JIS H 3100「銅及び銅合金の板及び条」に規定するC2600、C2720、C2810またはJIS H3250「銅及び銅合金の棒」に規定するC3602、C3604、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。	
		〔ステンレス鋼板の場合〕	
	材質	JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1、またはJIS G 4308「ステンレス鋼線材」に規定するSUS304、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。	
	底 板 材 、 受 け 枠 材 、 蓋 枠 材 の コ ー ナ ー ピ ー ス 、 底 板 補 強 材		〔ステンレス鋼板の場合〕
		材質	JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1、またはJIS G 4308に規定するSUS304、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。
			〔アルミニウム板の場合〕
		材質	JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するA1100P-H24、または同等の性能を有するもの。
表面処理		JIS H 8602に規定するBまたはJIS H 8601に規定するAA15、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。	
		〔ステンレス鋼板またはアルミニウム板以外の場合〕	
		充填用は、補強材およびコーナーピースの類がモルタル内に埋め込まれる場合は、鋼板も可とする。	
		〔ステンレス鋼板の場合〕	
材質		JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、またはSUS443J1、もしくは同等の性能を有するもの。	
		〔鋼板の場合〕	
材質	鋼板はJIS G 3313に規定する鋼板にメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理を行ったもの、またはこれと同等の性能を有するもの。		
防錆処理	JIS G 3313または鋼板様に標準仕様書表18.3.1および表18.3.2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。		
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等外枠と蓋枠の材質、形状に適する弾力性及び密着性を有するもの。	
アンカー材		鋼板に電気重鉛めっき又は防錆塗装を行ったもの、または同等の防錆性能を有するもの。	
取手		黄銅鋳物製、黄銅製、アルミニウム押出型材・合金鋳物製、ステンレス鋼鉄鋼品、ステンレス鋼材製等の堅牢な材質のもの。ステンレス鋼材、アルミニウム押出型材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じない構造のもの。	
錠		黄銅製、ステンレス鋼製、亜鉛合金製（クロムめっき）の錠。	
品 質	項目	品質等	
	構 造	1. 加工は、受け枠・蓋枠とも四隅の接続部に目違い・ずれ・隙間等がない構造であること。	
		2. 組立は、受け枠・蓋枠とも四隅の接続部を溶接接合および留付補強材などにより留付けた堅牢な構造であること。	
		3. 閉鎖状態において蓋枠と受け枠に面外の目違いのない構造であること。又蓋と受け枠の接触部は、歪みがなく歩行などに際してがたつきその他の支障が生じない構造であること。	
		4. 錠付きの場合の施設・開錠は、鍵または開閉用ハンドル式とする。	
		5. アンカーは、四隅均等かつ堅固に固定できる位置にあること。	
	許 容 差	製品の許容差	
		・受け枠基準寸法600角程度まで	
		・受け枠寸法の許容差±0.5mm	
		・蓋付寸法の許容差±0.5mm	
・受け枠と蓋枠のクリアランス片側2.0mm以内			
性 能	蓋の耐荷重性能		
	イ) 加圧する荷重値Pn=1,000N		
	ロ) 蓋中央部の残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内		
	ハ) 受け枠・蓋その他に使用上の支障がないこと		
	ニ) 破壊荷重が、加圧荷重値Pnの2倍以上		
	（試験方法）		
	耐荷重試験		
	（1）試験体		
	イ) 張物用とし、600mm角程度とする。		
	ロ) 枠見込みは、40mm以下とする。		
（2）試験			
イ) 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。			
ロ) 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。			
ハ) 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する（終局荷重）まで加圧する。			
（3）測定			
測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返し、荷重ごとに記録。また、終局荷重を記録する。			

8
環
境
配
置
改
修
工
事

屋
上
緑
化
改
修
工
事

（屋根緑化軽量システム）
（品質・性能）

項	目	品 質 ・ 性 能				
受 け 枠 用 ア ン グ ル 材	透水7t/㎡の材質及び透水性能	材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。透水性能は、試験専用土壌を用いた定水位その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。				
	時間変化					
	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共）				
	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び結込み土壌を支え、流出しない構造であること。				
	排水層の鉛直方向の排水性能	240L/㎡・h以上				
	耐荷重性能	3×10 ⁴ N/㎡以上の載荷重で破損・有害な変形がないこと。				
	排水層の許容圧縮強度	排水層の耐根層時の上部歩行に際し破壊しないこと。				
	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下延伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能（貫通防止能力）を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性があるものであること。				
	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護できること。ただし、耐根層を保護コンクリート（絶縁シートを含む）の下に設ける場合は省略することができる。				
	（試験方法）	（1）排水基盤の耐荷重性能				
イ) 3×10 ⁴ N/㎡の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊が起きないことを確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み（％）を測定する。 （保水層を有する場合は保水層も対象とする。）						
ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm/min以下とする。						
グ レ ー チ ン グ		（グレーチング） （品質・性能等） （鋼製グレーチング）				
		項 目	品 質 ・ 性 能			
		メインバー、サイドバー及びエンドバー	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」に規定するSS400またはこれと同等の性能を有すること。			
		クロスバー	JIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」に規定するSWRMまたはこれと同等の性能を有すること。			
		受け枠用アングル材	JIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼線」に規定するSPH またはこれと同等の性能を有すること。			
		溶融亜鉛めっき膜厚	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定する溶融亜鉛めっきの付着量が HDZT 56以上又は、HDZT 70以上のもの			
		受け枠用アングル材	塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料			
	（1）組立て加工	イ) アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。				
		ロ) 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。				
		ハ) ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。				
（2）耐荷重性能		設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。				
（ステンレス製グレーチング）						
項 目		品 質 ・ 性 能				
メインバー		JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、もしくはJIS G 4318「冷間仕上ステンレス鋼棒」に基づくSUS304又はJIS G 4304、もしくはJIS G 4305に基づくSUS430J1L				
クロスバー		JIS G 4303、G 4304、G 4305、G 4308もしくはG 4318に基づくSUS304、またはJIS G 4304もしくはG 4305に基づくSUS430J1L				
エンドバー、サイドバー		メインバー及びクロスバーの材質並びにJIS G 4317「熱間成形ステンレス鋼形鋼」もしくは、JIS G 4320「冷間成形ステンレス鋼形鋼」に基づくSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305に基づくSUS430J1L				
受け枠用アングル材		JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定するSUS304又はJIS G 4305に規定するSUS430J1L				
アンカー	JIS G 3101に規定するSS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの					
H L	HL又は表面仕上げは、No.2B程度とする。					
	項 目	品 質 ・ 性 能				
	加工・溶接	溶接は、融合不良、溶込み不良、スラグ巻き込み、ビット、ブローホール等の有害な欠陥がないこと。				
	アンカーの間隔	側溝の場合は、500mm内外とすること。				
	組立・平坦性	変形がなく据付支障がないこと。				
	製品許容差	幅・長さ・ふた：±3.0mm				
	強度	強度計算書により、応力度及びたわみ量を確認している。				
	性能・荷重試験方法及び性能	荷重試験を行い、設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないことを確認している。				
	（荷重試験）	（1）荷重条件				
		イ) 横断溝用の設計荷重は、下表に示す衝撃を考慮した荷重とする。				
ロ) 側溝用の設計荷重は、下表に示す後輪一輪荷重とする。						
歩行道区分		荷重種別	後輪一輪荷重 (kN)	衝撃を考慮した荷重 (kN)	後輪接地面積 (cm)	
車道		T-20	78.5	109.8	20×50	
		T-14	54.9	76.9	20×50	
		T-6	23.5	33.0	20×24	
		T-2	7.8	11.0	20×16	
		歩道	4,903N/㎡ (500kgf/㎡) の等分布荷重			
（2）許容曲げ応力度		許容曲げ応力度は、実施する試験体のメインバー材と同じ材で行った材料強度試験耐力N/mm ² (kg/mm ²) データにより設定する。				
	（3）荷重試験	試験方法 試験体への加力				
		イ) 設計荷重を基準として一方向に繰返し加力を行う。加力速度は、原則として4903N/s (0.5tf/秒) とする。				
		ロ) 繰返し加力は、3回行った後、残留ひずみ等がないか確認する。				
		ハ) 上記ロを行った後、設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等の異常について確認する。				

9
そ
の
他

性能基準

イ) 設計荷重時の3回繰返し荷重後のひずみ度の判定基準は、「(2)許容曲げ応力度」より定める。
（この時のヤング係数は、鋼材…206KN/mm² (2.1×10kgf/mm²)、ステンレス鋼材…212KN/mm² (2.16×10kgf/mm²) を用いる。）

ロ) 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないこと。

（4）試験体

溝ふた、U字溝ふたとし、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。

イ) 溝ふた

横断面 T-20～T-2のうち1体

歩道用 1体

側溝用 T-20～T-2のうち1体

ロ) U字溝用

横断面 T-14～T-2のうち1体

歩道用 1体

（5）材料強度試験について

グレーチングの荷重耐力試験に先立ち、グレーチングの試験体に用いたメインバー材の耐力を確認するため、下記のイ)の試験またはロ)の試験データを提出する。

イ) 試験供試体に使用したものと同材のグレーチングの荷重耐力試験に先立ち下記による材料強度試験を行う。

・材料試験供試体：試験片は、JIS Z 2241「金属材料引張試験方法」による。また、試験片数は、各3本とする。

・試験方法：JIS Z 2241に基づく耐力および引張り強さとする。ただし、ステンレス材の耐力は、JIS Z 2241に示すオフセット法で算出した0.2%耐力とする。

ロ) 試験供試体に使用したものと同材の試験を上記（1）と同様の試験を行ったデータを提出する。

（6）グレーチング荷重試験の試験供試体の大きさについて

溝幅に直角方向の寸法は、原則として、1 m程度とする。

一級建築士事務所

〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718

一級建築士

第 1-2209-2531号

第203776号

市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

特記仕様書（11）

年 月 日

2026. 2

N0 A-12

市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事

工 事 概 要		
部 位	既存状況	改修工事（各種工事において、工事及び工程等については現場を確認の上打ち合わせをして施工すること）
屋 根	洋瓦葺（5：10）	・既存洋瓦撤去 → ガルバリウム鋼板ヨコ平葺 t 0.35 カバー工法
		※屋根部において経年劣化状況により補修工事を行う
		・下地工事（広小舞、野地板（構造用合板特類 t 12）、改質アスファルトルーフィング、その他）
		・棟部、けらば水切、軒先水切、谷部 ガルバリウム鋼板 t 0.35
		※ I G K O G Y O 断熱材付 スーパーガルテクト張 t 0.35 換気棟
金属製建具	雨戸：断熱雨戸 鏡板：スチール製 面格子 ・ 網戸	※ 改質アスファルトルーフィング TAJIMA ライナールーフィングラムダ t 1.0 22.5 k g / 巻
		・単板ガラスを撤去後複層ガラス（Low-E）に取替える（既存アルミサッシ枠及び障子を再利用する）
		※網戸を新規とする（各建具において） ※面格子一部取替え
破風・鼻隠し	防火サイディングボード張	・コーキングの打ち替え ・高圧洗浄 ・下地調整（R B 種） ・耐候性塗料塗りDP C種：ポリウレタン樹脂（鼻隠し・破風色付） （防火サイディングボードの補修含む）
軒 裏	軒天ボード（リブ付）	・コーキングの打ち替え ・高圧洗浄 ・下地調整（R B 種） ・耐候性塗料塗りDP C種：ポリウレタン樹脂（軒天色付） （軒天ボードの補修含む）
外 壁	防火サイディングボード張	・既存防火サイディングボード撤去（胴縁、透湿防水紙等含む）
		・新規防火サイディングボード張 t 15～（金具留め工法 t 5mm） コーナー部役物（L=455）使用
		・下地工事（胴縁、透湿防水紙張等）
		※外壁部において経年劣化状況により補修工事を行う ・土台水切 ガルバリウム鋼板（防鼠タイプ） t 0.35
雨 樋	軒樋：塩ビ製半丸105φ たて樋：塩ビ製60φ	・既存とする（劣化状況により改修工事をする）
バルコニー 階段部分	バルコニー手摺、天井、柱等 階段手摺	・耐候性塗料塗りDP 3種 ポリウレタン樹脂系 ・下地調整（RA種） （錆止め塗料塗り A種 現場2回塗）
既存浄化槽	浄化槽（30人槽）	・上部マンホールの蓋及び枠の補修工事（鋳鉄製蓋及び枠を撤去後F R P 製の蓋及び枠に取替える） ※上部保護コンクリートの補修工事は含むこと
ガス給湯器	201号室 ガス給湯器（20号）	・既存ガス給湯器撤去→ガス給湯器（20号）取替え 改修工事に伴う補修工事は含むこと
L E D 化 （照明器具）	蛍光灯、白熱灯	・L E D 照明器具に取替える（外部照明器具及び内部照明器具） 配線等は既存とする（一部引掛シーリング端子とする） ※一部天井部分の補修工事（ビス穴埋め等）含む
既存引き込み電柱	引き込み電線管	・既存電線管を撤去後（一部は残す）新規配管（電線は既存とする）に取替える ※これに伴う電気工事等は含むこと
各戸のD K	給気口	・新規給気口に取替える（内部壁の補修工事は含む）
既存駐輪場	2 棟	・解体撤去（2 棟） 既存柱跡部分等補修工事
既存ガスボンベ置き場	ブロック造（屋根、シャッター付き）	・屋根部分：解体～補修（木造） ・ シャッター部分：補修工事(新規取付)
その他付帯工事	各種改修工事に伴うもの	・改修工事に含むこと（詳細については打ち合わせとする）

（特記事項）

各種改修工事に伴う補修工事（電気、機械設備工事等も含む）については含むこと

ただし、現況建物においての劣化状況により改修工事等が困難な場合においては打ち合わせとする

外部（外壁部等）に設置されている各種器具等についての取り外しから取り付け工事は含むこと（各種器具については、再利用を原則する）

既存建物の各部分において、経年劣化状況が著しい場合においては打合せとする（改修工事時において発生した場合についても同様とする）

改修工事において、近隣の建物および住民等に工事に起因すると思われる事故及びクレーム、損傷等の損害が発生した場合においては

すべて請負者の責務としこれに対応すること また、疑義等が生じた場合においては、事前に打ち合わせをして承認後施工すること



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第 203776 号 荒井 恭一

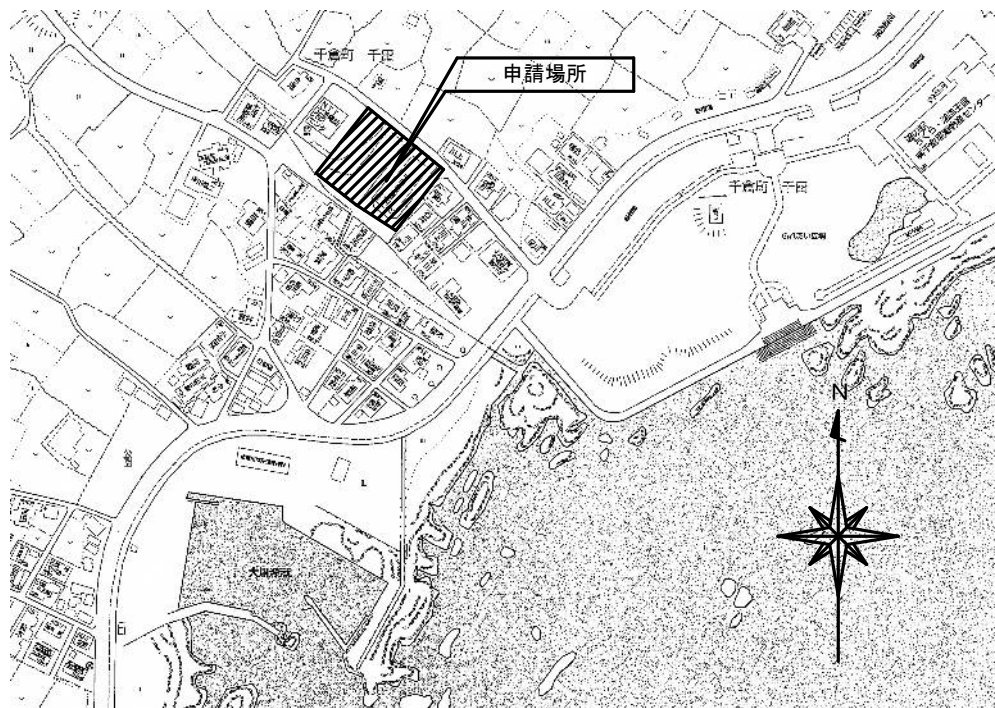
市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

工事概要（改修工事）

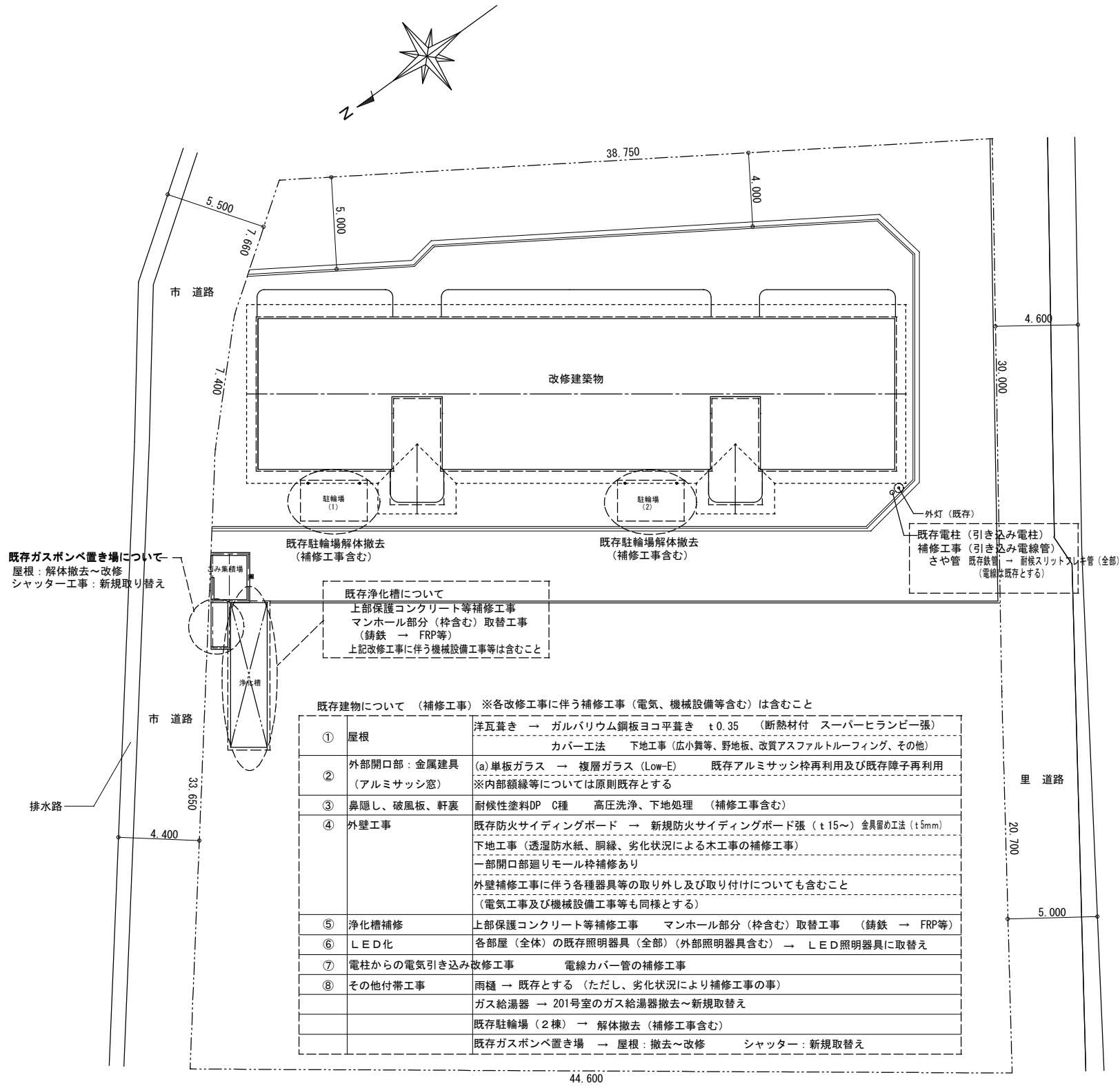
年 月 日

2026. 2

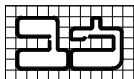
N0 A-13



案内図



配置図 S = 1/200



一級建築士事務所

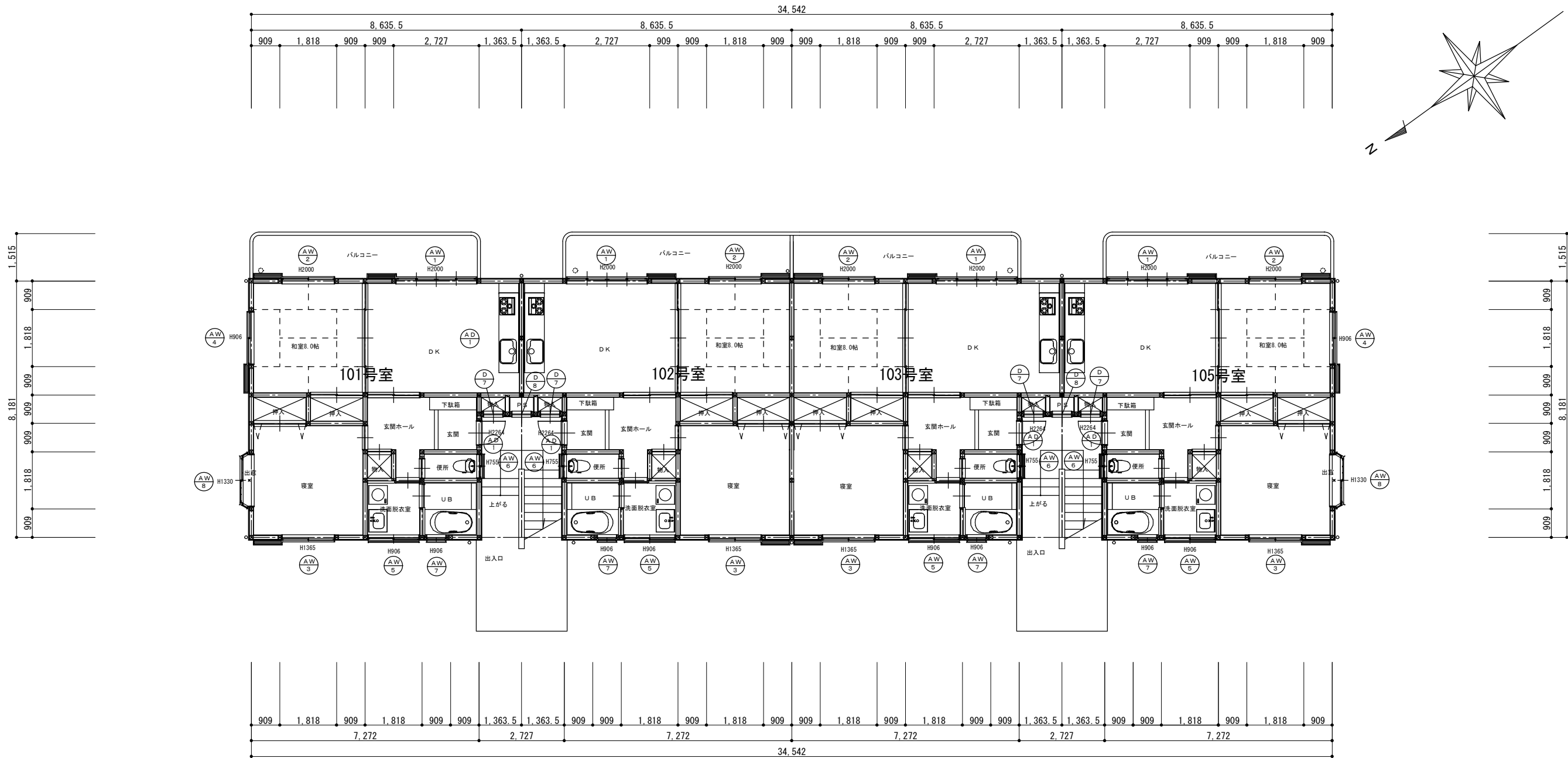
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第203776号 荒井 恭一

市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

案内図 配置図
A3判: S=1/282

年月日
2026.2

N0 A-14

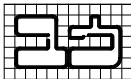


開口部（アルミサッシ部） ※施工に関しては、現場を確認の上打ち合わせ後施工すること 改修工事に伴う補修工事は含むこと ただし、現況の状況により施工等が困難な場合については打ち合わせとする

記号	仕様・ヶ所	(a) 複層ガラス (Low-E) ※ガラスのみ変更する	数量 (障子の枚数)	網戸 (新規とする)	数量	備考
AW1	(25620) × 4ヶ所	W9尺×4枚引き違い (H=2000) 透明ガラス (4 + 4) アルゴンガス入	16	910×2000	8	雨戸、鏡板は既存とする
AW2	(16520) × 4ヶ所	W6尺×2枚引き違い (H=2000) 透明ガラス (4 + 4) アルゴンガス入	8	910×2000	4	雨戸、鏡板は既存とする
AW3	(16513) × 4ヶ所	W6尺×2枚引き違い (H=1365) 透明ガラス (3 + 3) アルゴンガス入	8	910×1365	4	雨戸、鏡板は既存とする
AW4	(16509) × 2ヶ所	W6尺×2枚引き違い (H=906) 透明ガラス (3 + 3) アルゴンガス入	4	910×906	2	雨戸、鏡板は既存とする
AW5	(16509) × 4ヶ所	W6尺×2枚引き違い (H=906) 型板ガラス (4 + 3) アルゴンガス入	8	910×906	2	面格子は既存とする
AW6	(07407) × 4ヶ所	W3尺×2枚引き違い (H=755) 型板ガラス (4 + 3) アルゴンガス入	8	455×755	4	面格子は既存とする
AW7	(06009) × 4ヶ所			910×906	4	面格子は既存とする
AW8	(16513) × 2ヶ所	台形出窓 2枚引き違い+FIX (H=1365) 透明ガラス (4 + 4) アルゴンガス入	4	910×1365	2	飾り格子は撤去する

1 階 平 面 図

S = 1 / 100



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第203776号 荒井 恭一

市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

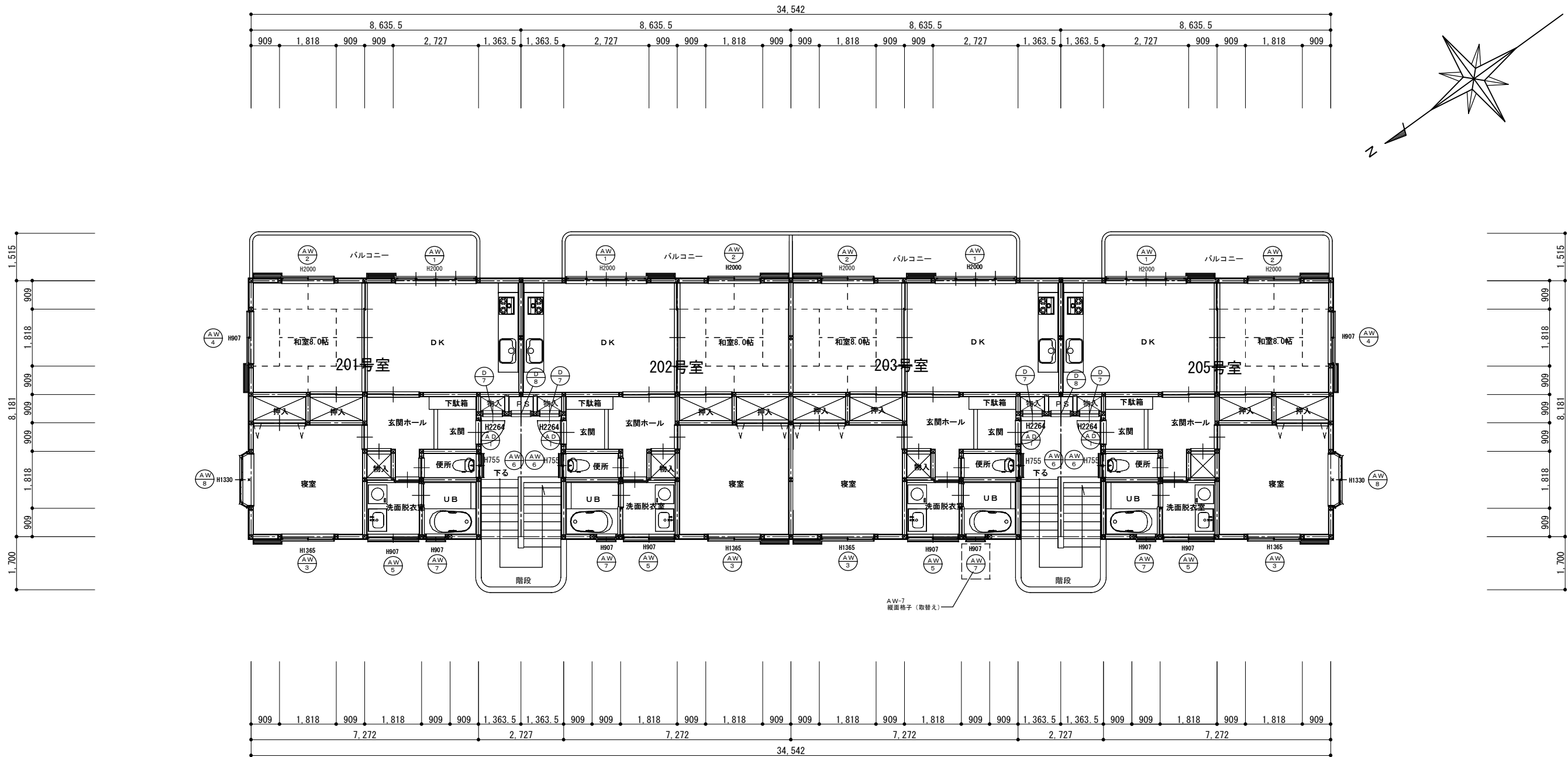
1階 平面図

A3判 : S=1/141

年 月 日

2026. 2

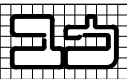
N0 A-15



開口部（アルミサッシ部） ※施工に関しては、現場を確認の上打ち合わせ後施工すること 改修工事に伴う補修工事は含むこと ただし、現況の劣化状況により施工等が困難な場合については打ち合わせとする

記号	仕様・ヶ所	(a) 複層ガラス (Low-E) ※ガラスのみ変更する					数量 (障子の枚数)	網戸 (新規とする)	数量	備考
<div>AW1</div>	(25620) × 4ヶ所	W9尺×4枚引き違い	(H=2000)	透明ガラス	(4 + 4)	アルゴンガス入	16	910×2000	8	雨戸、鏡板は既存とする
<div>AW2</div>	(16520) × 4ヶ所	W6尺×2枚引き違い	(H=2000)	透明ガラス	(4 + 4)	アルゴンガス入	8	910×2000	4	雨戸、鏡板は既存とする
<div>AW3</div>	(16513) × 4ヶ所	W6尺×2枚引き違い	(H=1365)	透明ガラス	(3 + 3)	アルゴンガス入	8	910×1365	4	雨戸、鏡板は既存とする
<div>AW4</div>	(16509) × 2ヶ所	W6尺×2枚引き違い	(H=906)	透明ガラス	(3 + 3)	アルゴンガス入	4	910×906	2	雨戸、鏡板は既存とする
<div>AW5</div>	(16509) × 4ヶ所	W6尺×2枚引き違い	(H=906)	型板ガラス	(4 + 3)	アルゴンガス入	8	910×906	2	面格子は既存とする
<div>AW6</div>	(07407) × 4ヶ所	W3尺×2枚引き違い	(H=755)	型板ガラス	(4 + 3)	アルゴンガス入	8	455×755	4	面格子は既存とする
<div>AW7</div>	(06009) × 4ヶ所							910×906	4	面格子は既存とする ただし、203号室UBについては取替えとする
<div>AW8</div>	(16513) × 2ヶ所	台形出窓 2枚引き違い+FIX	(H=1365)	透明ガラス	(4 + 4)	アルゴンガス入	4	910×1365	2	飾り格子は撤去する

2 階 平 面 図 S = 1 / 100



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第203776号 荒井 恭一

市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

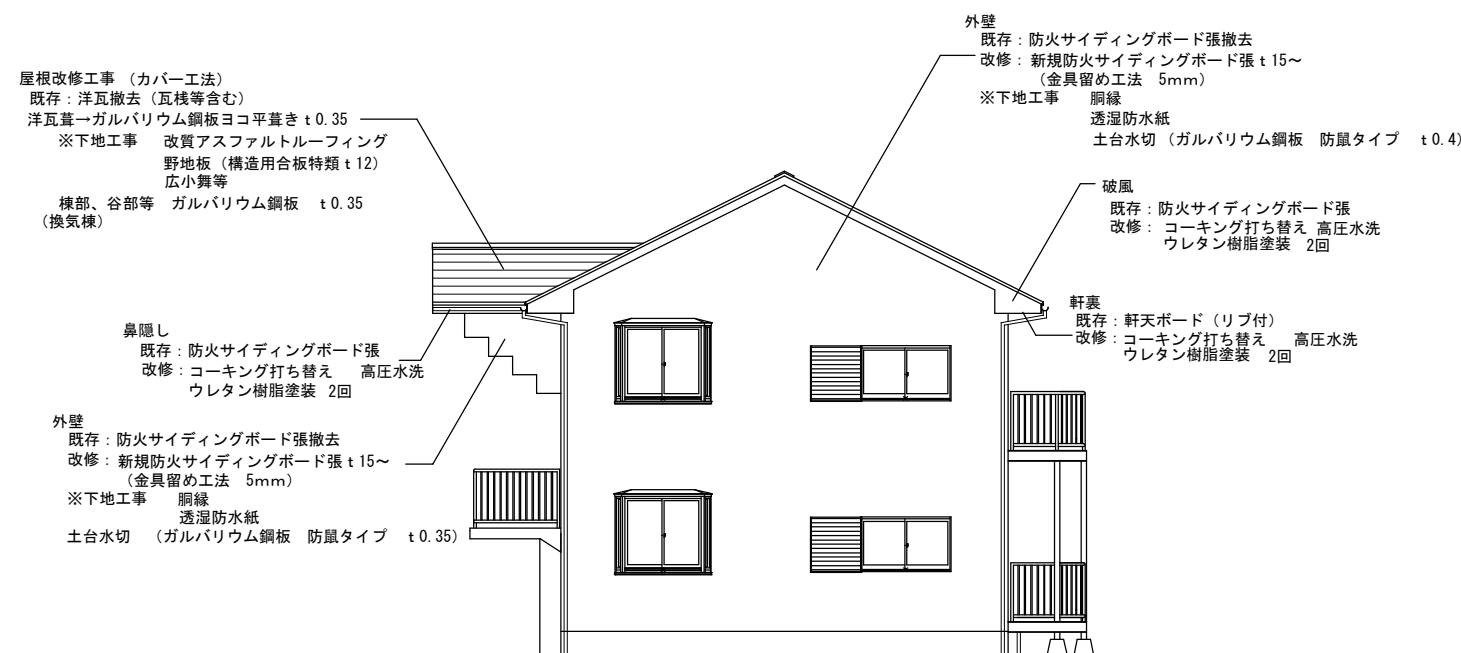
2階 平面図

A3判 : S=1/141

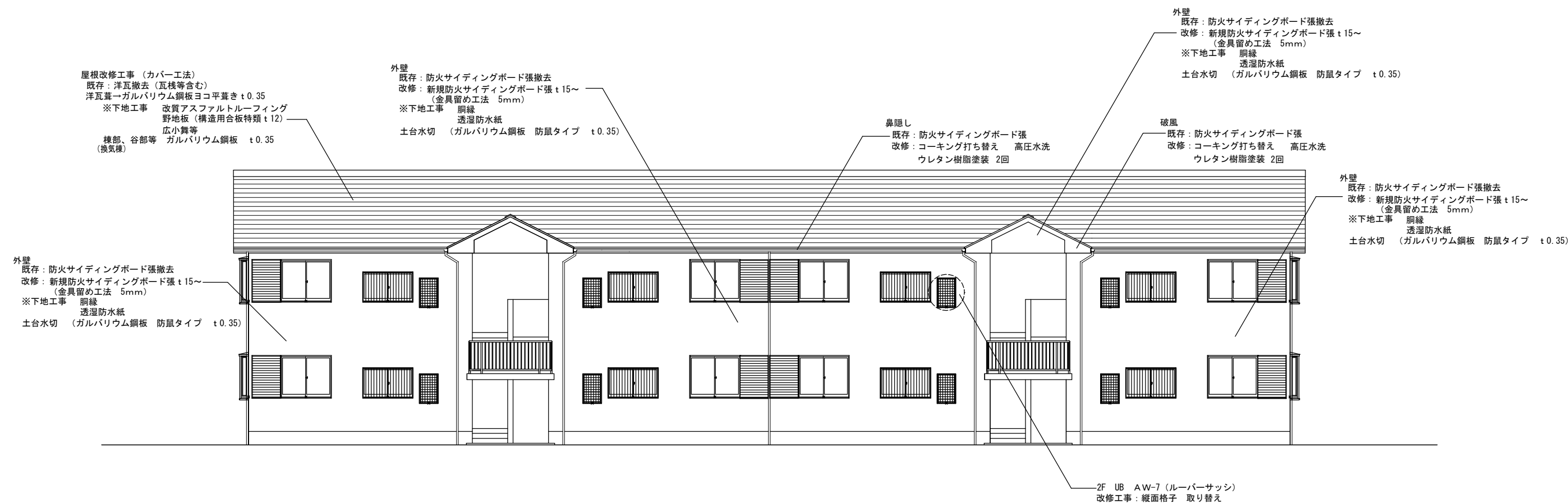
年 月 日

2026. 2

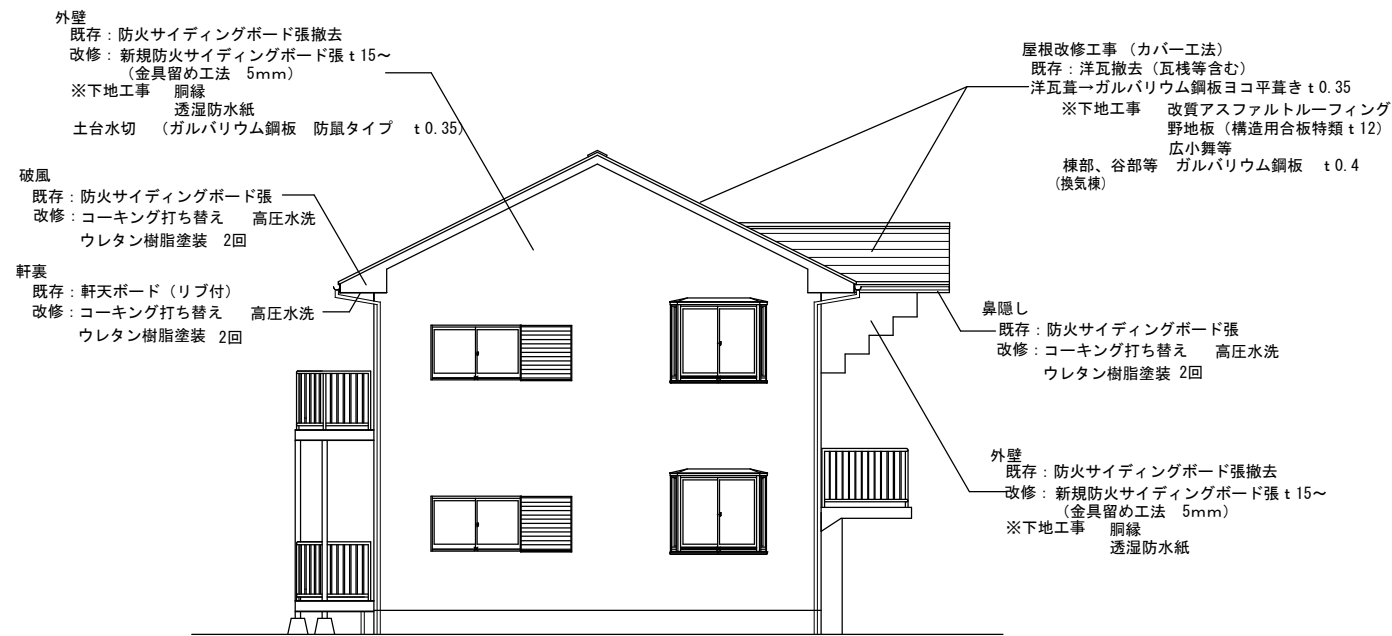
NO A-16



南西立面図 S = 1/100

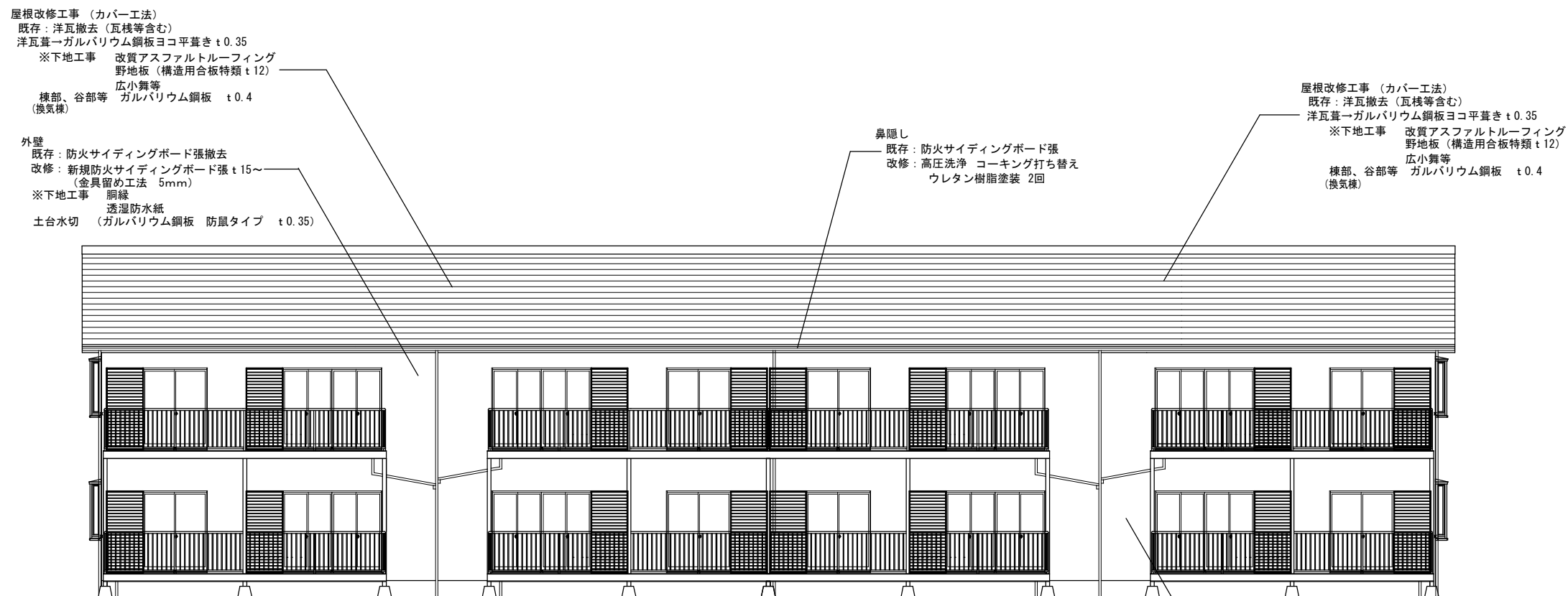


北西立面図 S = 1/100



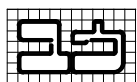
北 東 立 面 図

S = 1 / 100



南 東 立 面 図

S = 1 / 100



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第203776号 荒井 恭一

市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

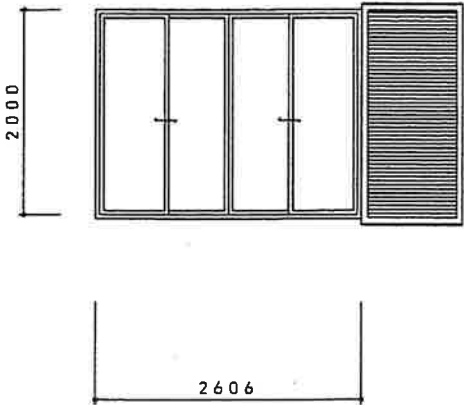
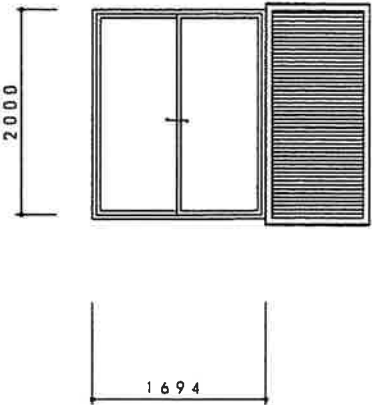
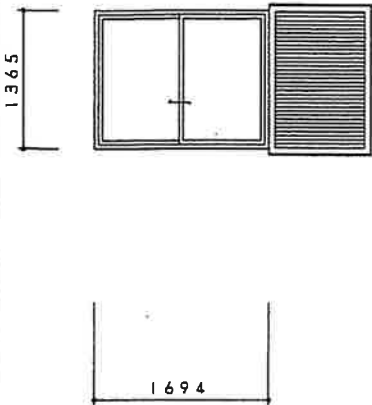
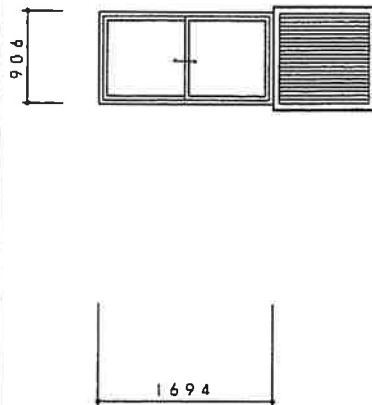
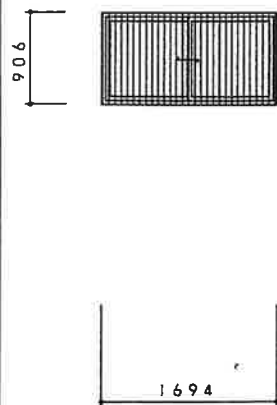


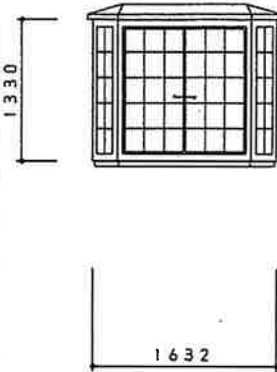
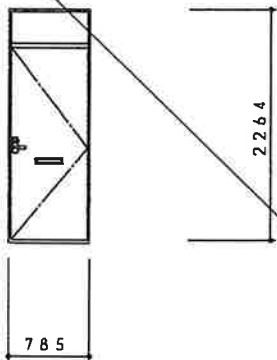
立面図 (2)

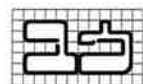
A3判 : S=1/141

年 月 日

2026. 2

NO A-18

記号	AW1	個数	8	AW2	個数	8	AW3	個数	8	AW4	個数	4	AW5	個数	8
窓図															
材種	両戸一体型アルミサッシ引違い窓6690	半外付型		両戸一体型アルミサッシ引違い窓6660	半外付型		両戸一体型アルミサッシ引違い窓4560	半外付型		両戸一体型アルミサッシ引違い窓3060	半外付型		面格子付アルミサッシ引違い窓3060	半外付型	
仕上	フッラック			フッラック			フッラック			フッラック			フッラック		
硝子	5mmトーメイ			5mmトーメイ			3mmトーメイ			3mmトーメイ			4mm型		
金物	クレセント他附属金物一式			クレセント他附属金物一式			クレセント他附属金物一式			クレセント他附属金物一式			クレセント他附属金物一式		
其他	断熱ルーバー両戸	ルーバー鏡板	アミ戸付き	断熱ルーバー両戸	ルーバー鏡板	アミ戸付き	断熱ルーバー両戸	ルーバー鏡板	アミ戸付き	断熱ルーバー両戸	ルーバー鏡板	アミ戸付き	アミ戸付き		
記号	AW6	個数	8	AW7	個数	8	AW8	個数	4	AD1	個数	8			
窓図															
材種	面格子付アルミサッシ引違い窓2530	半外付型		ガラスルーバーアルミサッシ窓3020			居室用出窓7DY4560			アハート用玄関トア					
仕上	フッラック			フッラック			フッラック			枠～ステンカラー	ホリ塩化ビニール被覆金庫板				
硝子	4mm型			6mm型			3mmトーメイ			4mm型					
金物	クレセント他附属金物一式			オペレーターハンドル他附属金物一式			クレセント他附属金物一式			丁番他附属金物一式					
其他	アミ戸付き			アミ戸付き			アミ戸付き								



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第 203776 号 荒井 恭一

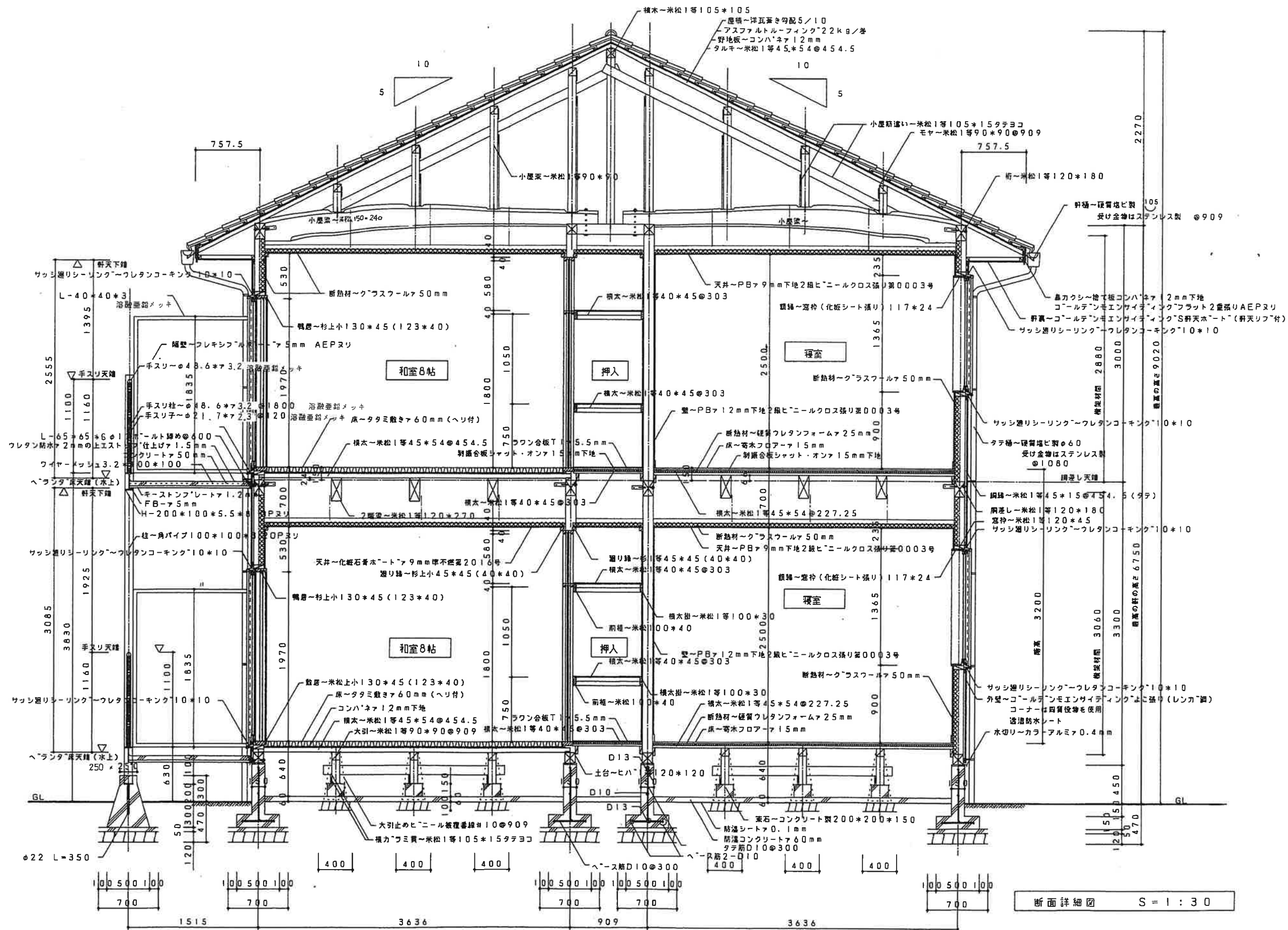
市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

建具表 (外部建具姿図: 参考図)

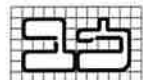
年 月 日

2026. 2

N0 A-19



断面詳細図 S = 1 : 30



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第 203776 号 荒井 恭一

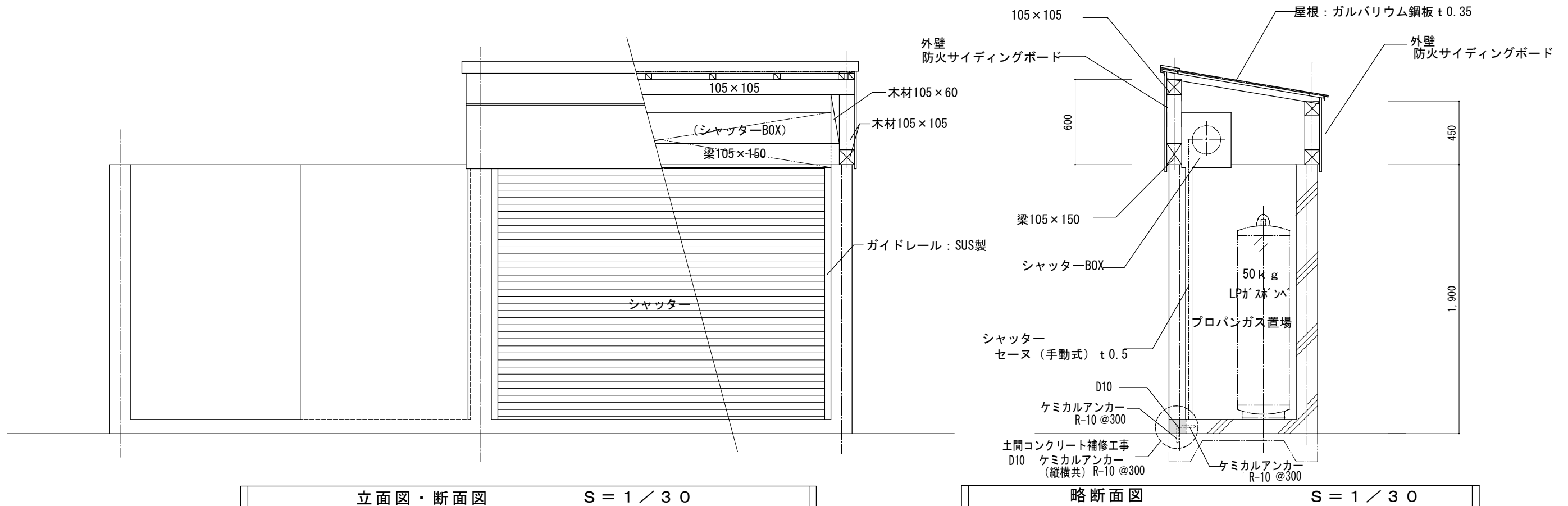
市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

矩計図 (参考図)
(既存建築物)

年 月 日

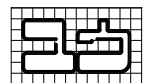
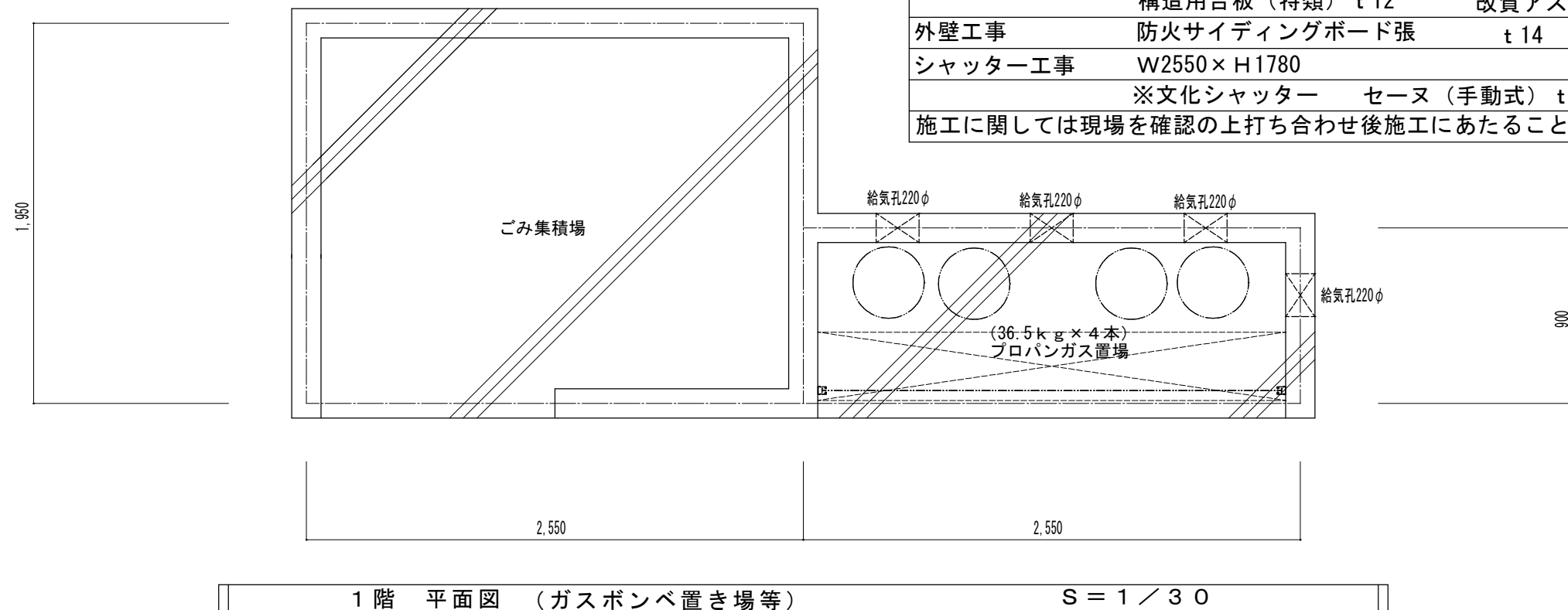
2026. 2

NO A-20



※改修工事について

屋根工事	木造下地（土台：105×105等）	防腐剤塗布
	ガルバリウム鋼板葺 t 0.35（たてひら葺き）	垂木45×45@455
	構造用合板（特類）t 12	改質アスファルトルーフィング
外壁工事	防火サイディングボード張	t 14 横張（釘留め）
シャッター工事	W2550×H1780	
	※文化シャッター	セーヌ（手動式）t 0.5 ガイドレール：SUS製
施工に関しては現場を確認の上打ち合わせ後施工にあたること		



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第 203776 号 荒井 恭一

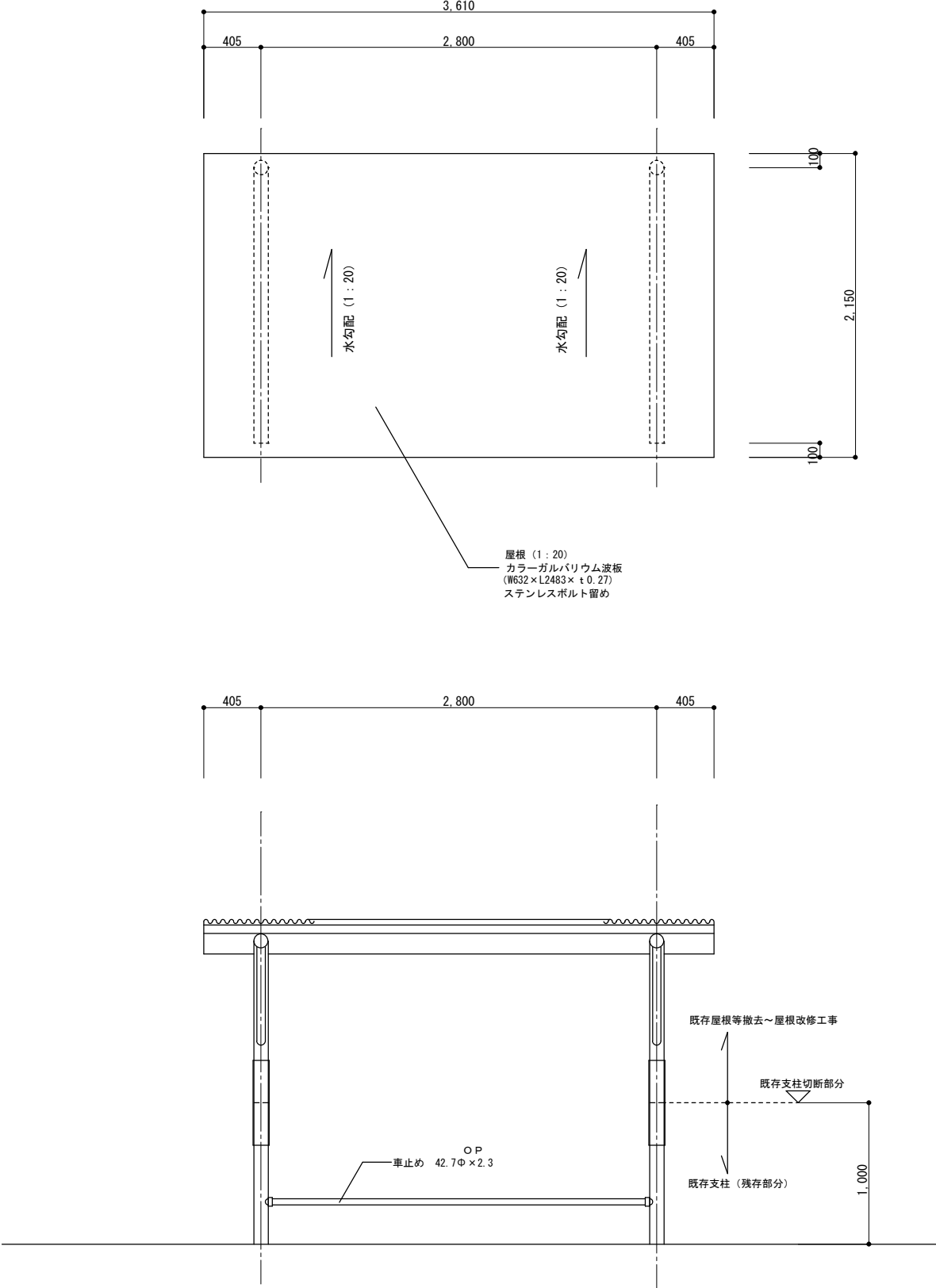
市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

ガスボンベ置場（既存）

年 月 日

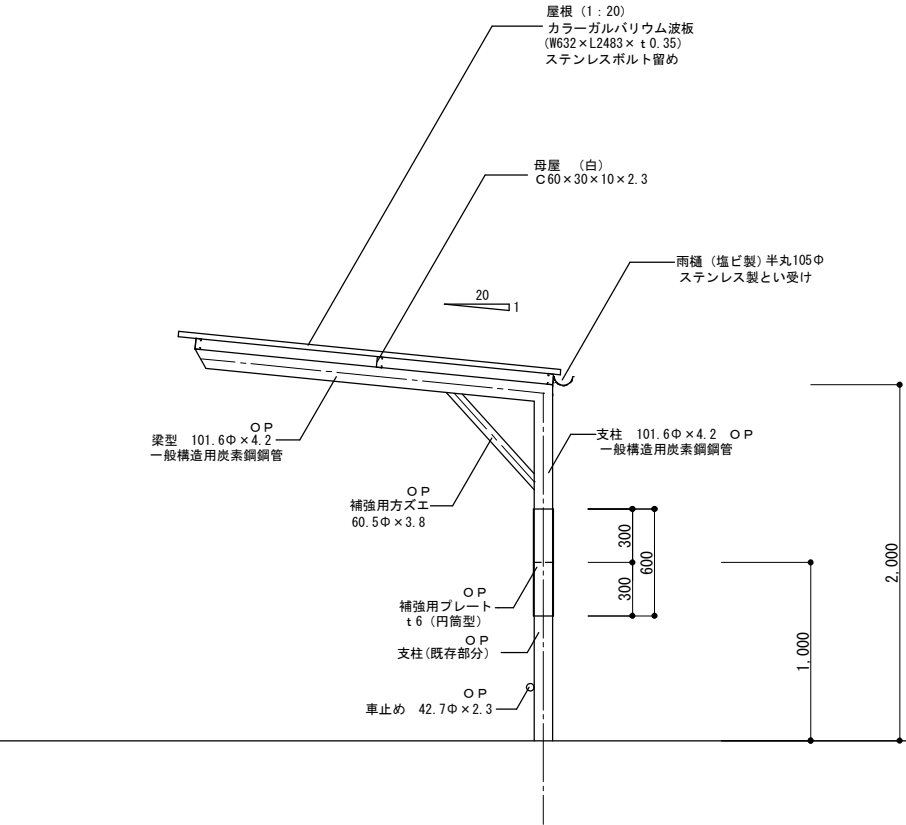
2026. 2

NO A-21



(特記事項)

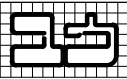
- 駐輪場工事においては、着工前に打ち合わせの上承認後施工すること
- 除去工事：駐輪場 × 2棟 全て解体撤去する
- ※解体後の土間等（モルタル補修等）の補修については含むこと
- 工事に際して、居住者が工事箇所近づかないよう充分に注意すること
- 工事の工程及び内容について、居住者に充分に周知すること
- 工事における安全面（居住者含む）においても充分に注意し施工に当たること
- その他詳細については、現場を確認の上打ち合わせ等によること



(参考図)

詳細図 (駐輪場)

S = 1/30



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL 0470-43-1718
一級建築士 第203776号 荒井 恭一

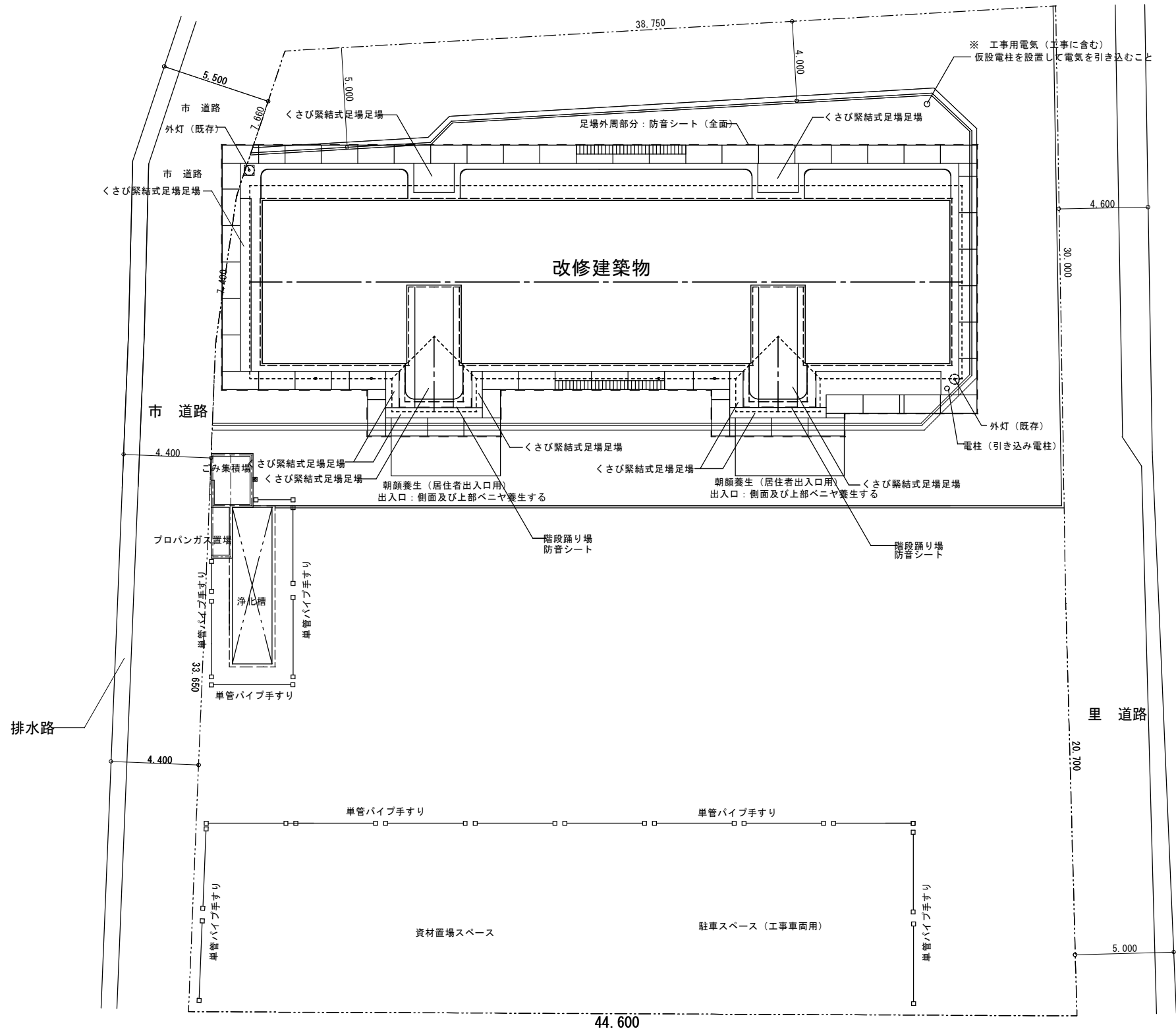
市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

詳細図 (駐輪場)

年 月 日

2026. 2


NO A-22



- (特記事項)
- 単管パイプ手すり等にて、居住者区域と工事区域と区画すること
 - 工事車両は、工事用駐車スペースに駐車すること
 - 工事用資材等は、所定の位置に安全面等に充分注意して保管すること
 - 工事期間中においては、居住者が不用意に工事区域に侵入しないよう注意を払うこと
- 既存浄化槽においての蓋の取り替え工事等においては
工事中の安全面（近隣者等）に充分に注意して施工にあたること
- ガスボンベ置き場の改修工事においても同様とする
（特に、市道路の通行にかかる車及び人については、
交通誘導員等の配置を考量して安全面等を確保すること）
- 居住者において工事期間中は、
出入口及び階段部分は使用するため通路等は確保すること
工事日程及び内容（関係するもののみ）を周知すること
工事作業員は、居住者に充分に注意を払い作業に当たること
工事において、既存建物、既存品等の養生を必要とする場合には、
あらかじめ養生方法、養生期間等について居住者に周知すること
- 工事用電気は、請負者において仮設電柱を設置し引き込むこと
工事用水道は、既存水栓（コンクリート柱水栓）を利用すること
（ただし、水道料金等については市と協議のこと）

仮設計画配置平面図 S = 1 / 2 5 0

市営住宅 千田黒潮団地屋根等改修工事		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																			
フレックス工期契約制度 ○ 適用する 工事着手期限日（ 年 月 日） 工期の終期日（ 年 月 日） ● 適用しない 留意事項 ・受注者は、工事着手日を明らかにするため、契約締結後7日以内に工事着手日通知書(第1号様式)を発注者に届け出なければならない。 ・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設業法(昭和24年5月24日法律第100号)第26条に基づく主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。 ・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設工事請負契約書第11条に基づく現場代理人の設置を要しない。 ・工事着手日までの間は、工事の施工(現場事務所の設置、資機材等の発注及び工場製作を含む)を行ってはならない。 ・前金払は、工事着手日の10日前までは請求できない。 ・工事実績情報システムへの登録に際しては、主任（監理）技術者及び現場代理人の従事期間は、工事着手日をもって登録するものとする。（工事契約日から工事着手日の前日までを除くこととする。）		● 一般事項	2)接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 3)接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 2.設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分においては、「規制対象外」とは、次の1)又は2)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3)又は4)に該当する材料を指す。 1)建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 2)建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 3)建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 4)建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 本工事は、ワンダーレスポンス対象工事である。 「ワンダーレスポンス」とは受注者からの質問、協議への回答は、基本的に、「その日のうち(24時間以内)」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者に確認の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 1)受注者は、施工計画に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を見ながら施工すること。 2)受注者は工事施行中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じる恐れがある場合は、原因を究明するとともに速やかに文書にて監督職員へ報告すること。 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には、次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速 (Vo= m/s) 地面粗度区分 (○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ) ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 ()	● 一般事項	1.本工事は、電子納品の対象工事である。 電子納品は、「千葉県倉庫事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】令和4年1月」（以下、「ガイドライン」という。）に基づいて行う。 2.工事完成検査時には、（公財）千葉県建設技術センター（以下、「センター」という。）から発行される「千葉県電子媒体(副本)納品事前受付書」を執行すること。 3.工事完成検査後は、速やかに電子媒体1部と「千葉県電子媒体(副本)納品事前受付書」をセンターに送付すること。その後、センターから発行される「千葉県電子媒体(副本)受領書」を監督職員に提出すること。なお、電子成果品は工事請負契約書第45条の対象とし、電子データに不備が確認された場合は、受注者は修正作業を行わなければならない。 4.「ガイドライン」の解釈に疑義がある場合は、監督職員と協議の上で決定すること。 工事完成時の提出図書等は以下のものとする。 <table border="1"> <tr> <th>提出図書等</th><th>仕 様</th><th>部数</th></tr> <tr> <td rowspan="2">● 完成図書</td><td>○ 図面(A1版)折りたたみ製本</td><td>○ A4版 ○ 1部</td></tr> <tr> <td>○ 図面(A1版)見開き製本</td><td>● A3版 ● 2部</td></tr> <tr> <td>● 工事関係図書</td><td>本工事中に作成した工事関係書類等をまとめたもの</td><td>● 1部 ○ 部</td></tr> <tr> <td rowspan="2">● 完成写真</td><td>● キャビネ版</td><td>○ 1部 ○ 部</td></tr> <tr> <td>● 撮影箇所 ○ 工事箇所 ○ 箇所</td><td>● 1部 ○ 部</td></tr> <tr> <td>● 保全に関する資料</td><td>● 建築物等の利用に関する説明書 ● 機器取扱説明書 ● 機器性能試験成績書 ● 官公署届出書類 ○ 総合試運転調整報告書 建築物等の利用に関する説明書は「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」に基づき作成すること。</td><td>● 1部 ○ 部</td></tr> <tr> <td>● 電子成果品</td><td>電子納品による</td><td>● 2部 ○ 部</td></tr> </table>	提出図書等	仕 様	部数	● 完成図書	○ 図面(A1版)折りたたみ製本	○ A4版 ○ 1部	○ 図面(A1版)見開き製本	● A3版 ● 2部	● 工事関係図書	本工事中に作成した工事関係書類等をまとめたもの	● 1部 ○ 部	● 完成写真	● キャビネ版	○ 1部 ○ 部	● 撮影箇所 ○ 工事箇所 ○ 箇所	● 1部 ○ 部	● 保全に関する資料	● 建築物等の利用に関する説明書 ● 機器取扱説明書 ● 機器性能試験成績書 ● 官公署届出書類 ○ 総合試運転調整報告書 建築物等の利用に関する説明書は「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」に基づき作成すること。	● 1部 ○ 部	● 電子成果品	電子納品による	● 2部 ○ 部	● 一般事項	5.再生処理等 1)指定(A)(工事間利用)の場合 本工事により再生処理した処理土のうち、下記に示す処理土については、工事間利用を図るものとし、下記指定地に搬出すること。 ア 搬出先(相手先工事名、場所等) 工事 市 町地先 イ 土質及び処理量 第 種建設発生土 m ³ ウ 搬出時期 年 月 ～ 年 月 なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。また、建設汚泥の再生利用にあたっては、平成18年6月12日付国土交通事務次官通知「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」等に基づき、適正に処理すること。 留意事項 1.利用先の確保 建設発生土情報交換システム(コプリス・プラス)を活用して、建設発生土と同様、積極的に工事間流通により利用先の確保に努める。 2.中間処理施設の選定 中間処理施設の選定に当たっては、利用先の品質要件に合う発生処理土を確保するため、他の残土と混ざらないようにいかに再生処理できるかが大きな要素となる。このため、経済性を含めて総合的に判断する必要がある。 また、リサイクル原則化ルールに基づき、建設副産物情報交換システム(コプリス・プラス)の登録処理業者を活用して、50km範囲で検索する。 3.品質・安全性の確保 処理土の品質・安全性を確認するため、土質試験、土壌分析試験などを行う。 4.一時保管 利用先との工程調整のため一時保管する場合には、廃棄物処理法等の手続きが必要となるので注意する。 ○ 建設発生土の処理 ○ 環境への配慮 1.千葉県で定める「環境配慮物品調達方針」に基づき環境に配慮した物品を優先的に使用する。 2.「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」の特定調達品目判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(令和7年1月28日変更閣議決定)による。 3.環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項(「資材(材料及び資材を含む)の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」)に留意すること。 ● 環境対策 建設機械は、排出色対策型、低騒音型の建設機械を使用すること。 ○ 化学物質の濃度測定 ○ 施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物の濃度を測定し、報告すること。 ○ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン ○ パラジクロロベンゼン(用途が学校の場合、上記項目に追加する。) 測定はバッシュ型採集機器により行う。 着工前の測定 ○ 行わない ○ 行う 測定対象箇所 ○ 図示 ○ () 測定箇所数 ○ 図示 ○ () 測定値が厚生労働省指針値を超えた場合は、換気後再測定し報告書を提出すること。 ● 保険 本工事については、工事目的物及び工事材料を次に示す内容で火災保険、組立保険その他の保険に附すること。 1)被保険者 発注者、受注者及びその全下請負人 2)保険金額 請負代金全額 3)保険期間 工事着手のときから工事引渡しまでの期間 なお、保険契約を締結したときは、その証券又はまたに代わるものを直ちに監督職員に提示すること。 ● 工事実績情報の登録 本工事の最終請負代金(消費税込)が500万円以上となる場合には、工事実績情報システム(コリンズ)に基づき、工事実績データを作成する。 また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に(一財)日本建設情報総合センターに所定の手続により登録するとともに、登録内容確認書の写しを提出する。 1)工事受注時 契約締結後10日以内 2)登録内容の変更時 契約事項の確定日から10日以内 3)工事完成時 工事完成後10日以内 ● 工事現場管理 受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1)不法・違反無届局(不法パーソナル無線)を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。 ● 過積載による違法搬送の防止 受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1)積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また積み込まないこと。 2)さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込まないこと。 3)過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けるなど、過積載を助長することのないようにすること。 4)取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正常態を解消する措置を講ずること。 5)建設発生土の処理及び資材等の購入にあたって、下請事業者及び資材等納入者の利益を不当に害することのないようにすること。 6)以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。 ● 創意工夫等の実施 受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の書式により提出することができる。 ● 安全対策 受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。 発注者が組織する安全対策委員会が行う安全審査、施工条件検討、安全点検等に協力すること。 ○ 他工事との取合い 別表1による。													
提出図書等	仕 様	部数																																								
● 完成図書	○ 図面(A1版)折りたたみ製本	○ A4版 ○ 1部																																								
	○ 図面(A1版)見開き製本	● A3版 ● 2部																																								
● 工事関係図書	本工事中に作成した工事関係書類等をまとめたもの	● 1部 ○ 部																																								
● 完成写真	● キャビネ版	○ 1部 ○ 部																																								
	● 撮影箇所 ○ 工事箇所 ○ 箇所	● 1部 ○ 部																																								
● 保全に関する資料	● 建築物等の利用に関する説明書 ● 機器取扱説明書 ● 機器性能試験成績書 ● 官公署届出書類 ○ 総合試運転調整報告書 建築物等の利用に関する説明書は「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」に基づき作成すること。	● 1部 ○ 部																																								
● 電子成果品	電子納品による	● 2部 ○ 部																																								
Ⅰ. 工事概要																																										
1.工事場所	千葉県南房総市千倉町千田1072番地1																																									
2.建物概要	<table border="1"> <tr> <th>建 物 名 称</th><th>構 造</th><th>階 数</th><th>延べ面積 (㎡)</th><th>消防法施行令別表第一</th><th>施設の種類</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td>市営住宅 千田黒潮団地</td><td>木 造</td><td>2</td><td>574.22m²</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>						建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	施設の種類	備 考	市営住宅 千田黒潮団地	木 造	2	574.22m ²																									
建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	施設の種類	備 考																																				
市営住宅 千田黒潮団地	木 造	2	574.22m ²																																							
3.工事種目（● 印の付いたものを適用し、○ 印の付いたものは適用しない。）	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">建 物 別 及 び 屋 外 工 事 種 目</th><th colspan="5">工 事 種 別</th></tr> <tr> <th>一 式</th><th>一 式</th></tr></table>	建 物 別 及 び 屋 外 工 事 種 目	工 事 種 別					一 式	一 式																																	
建 物 別 及 び 屋 外 工 事 種 目	工 事 種 別																																									
	一 式	一 式																																								

 一級建築士事務所	一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号 〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718 一級建築士 第203776号 荒井 恭 一	市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面	電気設備工事特記仕様書 (1)	年 月 日	NO E-01
				2026. 2	

項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																											
● 一般事項	● 中間検査を実施する。 (回数 4～5 回、実施時期 必要と思われる時) (中間検査の範囲 (工事箇所等))	● 共通事項	設計用標準水平震度	<table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="2">上層階、 屋上及び塔屋</td><td>機器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td rowspan="2">中 間 階</td><td>水槽類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="4">地 階 ・ 1 階</td><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>機器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td></td><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table> 【備考】・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの ・水槽類に燃料小出槽を含む。 重要機器は次のものを示す。 ○ 配電盤 ○ 発電装置(防災用) ○ 直流電源装置 ○ 交流無停電電源装置 ○ 交換機 ○ 自動火災報知受信機 ○ 中央監視装置 ○	設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	中 間 階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	地 階 ・ 1 階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設																																																											
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																										
上層階、 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																										
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																										
中 間 階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																										
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																										
地 階 ・ 1 階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																										
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																										
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																										
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																										
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																										
○ 中間検査の対象工事	本工事が、低入札価格調査制度調査対象工事(以下「調査対象工事」という。)に該当した場合は、千葉県建設工事検査要綱(検査の区分を規定)及び中間検査実施細則(中間検査実施区分を規定)の定めに関わらず中間検査の指定対象工事として、中間検査を実施する。 1) 調査対象工事の中間検査の実施は、「中間検査実施細則」に関わらず原則として2ヶ月に1回、隔月ごと、及び主要工種を考慮し施工上の変化点等を行うが、実施時期は監督職員が指定する。なお、検査日及び検査監氏名は別途通知する。 2) 中間検査は、通知日まで完了した出来形部分の出来形確認及び技術の確認等を行うが、給付の対象としない。	○ 工事前の絶縁抵抗測定	2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	改修する回路の絶縁抵抗は、比較のため工事の前で測定すること。																																																											
○ 条件明示項目	○ 施工可能期間 月 日～月 日(期間中も行事等により、短期の施工不能日あり) ○ 改修工事の部分使用 月 日までに下記部分について、部分使用するので協力すること。 部分使用箇所()	○ 施工調査	事前調査 ○ 本工事 ○ 別途 調査項目 ○ 既存資料調査 ○ 調査範囲 ○ 図示 ○ 調査方法 ○ 図示 ○	○ はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。																																																											
○ 施設点検	本工事完成(「工事物の引渡し」を行った日)後、1年目及び2年目に関係者(営繕課、工事監理事務所、施設管理者、受注者)による施設点検(不具合の有無を確認し、その処理について協議)を行うので、当該からの依頼により施設点検に立会い協力するものとする。	○ 電気方式	高圧 ○ 三相3線式 6kV 低圧 ○ 三相3線式 200V ○ 三相 線式 V ○ 三相3線式 200V/100V ○ 単相 線式 V ○ CB形(5サイクル以内) ○ PF-S形																																																												
○ その他	本工事に含まれる建築工事、機械設備工事は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の標準仕様書(令和7年版)に準拠して行う。 情報システム課が設置した機器(アクセスポイント、サーバーラック等)がある場合は、取扱いを監督職員と協議すること。	○ 主遮断機 ○ 設備容量 ○ 直相コンデンサ ○ 配電盤 ○ 絶縁ゴムマット ○ その他	変圧器総容量 kVA (うち本工事に係るもの kVA) ○ 高圧 kVar ○ 低圧 自動力車制御(○ あり ○ なし) ○ 屋形 ○ 屋外形 W1000×10t×L 1) 変圧器は ○ 油入形 ○ モールド形 変圧器とする。 2) 高圧交流負荷開閉器(LBS)はストライカ式とする。 3) 変圧器のB接続地線には、漏電警報器(ELR)を設置する。 4) DS・LBS等の充電部が露出する機器には、十分な強度を有する透明アクリル板保護扉を設ける。																																																												
● デジタル工事写真の 小黒板情報電子化	デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。 本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事(以降、「対象工事」と称する)とすることができる。対象工事では、以下の1)から4)の全てを実施することとする。 1) 対象機器の導入 受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以降「使用機器」と称する)については、営繕工事写真撮影要領 2.(3)に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」 URL https://www.cryptrec.go.jp/list.html に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に本工事での使用機器について提示するものとする。 なお、使用機器の事例として、 URL http://www.cals.jacic.or.jp/G1M/sharing/index.html 記載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。 2) デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入 受注者は、1)の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、営繕工事撮影要領 2.(3)撮影方法)による。 ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工事については、使用機器の利用を限定するものではない。 3) 小黒板情報の電子的記入の取扱い 本工事の工事写真の取扱いは、営繕工事写真撮影要領に準ずるが、2)に示す小黒板情報の電子的記入については、同要領 4. で規定されている写真編集には該当しない。 4) 小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品 受注者は、2)に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。)を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。 なお納品時に、受注者は URL (http://www.cals.jacic.or.jp/G1M/sharing/index.html) のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ「工事打合せ簿」等により提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することができる。	○ 電気方式 ○ ハイテンションアウトレット ○ 非常照明器具 ○ 配線器具 ○ 非常用の照明装置の照度測定箇所数	幹線 ○ 単相3線式 200V/100V ○ 直流2線式 100V 分枝 ○ 単相2線式 100V ○ 直流2線式 100V ○ 単相2線式 200V ○ 外部固定式 ○ 内部固定式 ○ 回転形又は上下動形 ○ アップ形 ○ 電池内蔵形 ○ 電池別置形 ○ タンブラスイッチは ○ ワイド形 ○ 大角形 ○ 壁付コンセンは(2口は複式で可) ○ ワイド形 ○ 大角形 測定数：監督職員の指示による。																																																												
		○ 機器への接続	幹線 ○ 三相3線式 200V ○ 相 線式 V 分枝 ○ 三相3線式 200V ○ 相 線式 V 本工事制御盤より別途電動機等への配線接続は ○ 本工事 ○ 別途工事																																																												
		○ 構内配電線路	○ 電気方式 ○ 電線方式 ○ 配線方式 ○ 地中線の余長 ○ 地中管の材質	○ 三相3線式 6kV ○ 三相3線式 200V ○ 三相 線式 V ○ 単相3線式 200V/100V ○ 単相 線式 V ○ 地中線式 ○ 単相 線式 V ○ 地中線式 ○ 架空線式 マンホール、ハンドホール内で各系統2面以上(1巻程度)ケーブルの余長を設ける。 ○ 厚鋼電線管(防食テープ1/2重ね2回巻き、4層) ○ 波付硬質ポリエチレン管 ○ 防水鉄管 ※防食テープはJIS Z-1901を使用し、地上立ち上がり部分はGL+300mmまでテープ巻きを行う。 ○ 耐圧型(ケーブル端末処理材とも) ○ 重耐圧形 ○ 1基毎単独 ○ 共用(ケーブル1芯使用) 1) 架空引込 高圧気中負荷開閉器(PAS)、(S06+DGR)付収納箱(ステンレス製) 2) 地中引込 高圧引込用気中負荷開閉器(地中引込用)(UAS)(S06+DGR)付 地中線には、ケーブル埋設槽及び埋設槽構築シート(高圧は管理者名入り)を設ける。 埋設槽 ○ 鉄製 ○ コンクリート製 構築シート ○ (GL-300 ○ 2倍折り)																																																											
● 共通事項	○ 金属製露出管路(至給メッキ面)の塗装 ○ 厚鋼電線管及び同附属品 ○ フローアブリートフロアカーバー ○ フラッシュレフト ○ 呼び線 ○ 保温・結露防止 ○ 合成樹脂製とか電線管 ○ 屋外ブルボックス ○ はつり ○ 既存躯体への穿孔 ● 再使用機器 ○ 耐震措置	○ すべて地下処理の後、塗装(調合ペイント2回塗り)を行う。 ○ 配線室以外の管路は、すべて地下処理の後、塗装(調合ペイント2回塗り)を行う。 ○ 電線管外面の仕上げは、○ 溶融亜鉛メッキ ○ 製造者標準 とする。 電線管内部の仕上げは、○ 溶融亜鉛メッキ ○ 製造者標準 とする。 電線管付属品は、○ 上記と同等の防食性能を有する防防水 ○ 標準品 とする。 特記あるもの及び特殊なものを除き ○ 砲金製 ○ アルミ合金製 ○ ステンレス製 " ○ 平高低調整式(空転防止リング付) 0A用インナーコンセント ○ 樹脂製 ○ アルミ合金製 特記あるもの及び特殊なものを除き ○ 樹脂製 ○ アルミ合金製 ○ ステンレス製 長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のビニール被覆鉄線を挿入する。 建築工事に于てFPE(スタイロホーム等)打込み箇所に取付ける位置ボックス等は、保温、結露防止処理を行う。 合成樹脂製とか電線管(PF)は、一重管とする。 ○ 溶融亜鉛メッキ製 ○ ステンレス製 防水形とする。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカットによる。 穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属の探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。 取り外し再使用機器は、清掃および絶縁抵抗測定の上取り付けを行う。ただし、絶縁劣化等により再使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。 設備機器の固定は、次に示す事項を除き「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 1) 設計用水平地震力 機器の重量(kN)に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。	○ 装柱機材 ○ 外灯接地 ○ 区分開閉器等 ○ その他 ○ 配線方式 ○ 地中線の余長 ○ 地中管の材質 ○ その他 ○ 上ガス対策 ○ その他	○ 架空線式 マンホール、ハンドホール内で各系統2面以上(1巻程度)ケーブルの余長を設ける。 ○ 厚鋼電線管(防食テープ1/2重ね2回巻き、4層) ○ 波付硬質ポリエチレン管 ○ 防水鉄管 ※防食テープはJIS Z-1901を使用し、地上立ち上がり部分はGL+300mmまでテープ巻きを行う。 地中線には、ケーブル埋設槽及び埋設槽構築シートを設ける。 埋設槽 ○ 鉄製 ○ コンクリート製 構築シート ○ (GL-300 ○ 2倍折り)																																																											

別表1

○ 接 地 極

接地極の材料は原則として下記による。
なお、接地棒E B(14φ)の長さは1,500mm以上とする。
接地棒E B(10φ)はW=30mm、L=900mm（測定用は、L=1,000mm）、接地棒E B(14φ)は、W=40mm、L=1,200mmとしても差し支えない。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極
○ 共同接地	E _{A,B}	10Ω以下	E B(14φ)×3連ー2組
○ 共同接地	E _{A,C,D}	10Ω以下	E B(14φ)×3連ー2組
○ A種接地	E _A	10Ω以下	E B(14φ)×3連ー2組
○ B種接地	E _B	150/10Ω以下※	E B(14φ)×3連ー1組
○ C種接地	E _C	10Ω以下	E B(14φ)×3連ー2組
○ D種接地	E _D	100Ω以下	E B(10φ)×1(L=1,000mm)
○ D種接地	E _{D(ELB)}	100Ω以下	E B(10φ)×1(L=1,000mm)
○ 高圧避雷専用	E _{LH}	10Ω以下	E B(14φ)×3連ー2組
○ 交換装置用	E _L	10Ω以下	E B(14φ)×3連ー2組
○ 通信用(10Ω)	E _H	10Ω以下	E B(14φ)×3連ー2組
○ 通信用(100Ω)	E _{LT}	100Ω以下	E B(10φ)×1(L=1,000mm)
○ 電話引込口 の保安器用	E _{LT}	100Ω以下	E B(10φ)×1(L=1,000mm)
○ 測定用	E _D		E B(10φ)×1(L=1,000mm) 又は(L=900mm、W=30mm)

※ 接地抵抗値は、電気事業者と協議のうえ決定すること。

○ 機 器 取 付 高

図面に記載のなき場合、機器の取付高さは原則として下記による。

名 称	測 点	取付高(mm)
ブラケット（一般）	床面～中心	2,100
”（踊場）	”	2,500
”（鏡上）	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床面～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床面～上端	1,000以下
スイッチ（一般）	床面～中心	1,300
”（バリアフリースイッチ）	”	1,100
コンセント、電話用7芯ケーブル端子（一般）	”	5300
”（和室）	”	150
”（台所）	台上面～中心	150
コンセント（車庫）	床面～中心	800～1,300
コンセント（車椅子用）	床面～中心	900
取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
引込開閉器箱（低圧）	地上～中心	1,800～2,200
分電盤、OA盤、制御盤、実験盤	床面～中心	1,500
開閉器箱	”	1,500（上端1,900以下）
電磁開閉器用押しボタン	”	1,300
接地用端子箱	地上、床面～中心	500
雷保護用接地端子箱	床面～下端	800
接地極埋設標	地上～中心	600
給油ボックス（壁掛形）	地上～給油口	1,000
端子盤（EPS・電気室）	床面～中心	1,500
壁付電話機	床面～中心	1,300
観時計	”	1,500
子時計、スピーカ	”	(天井高)×0.9
アッテネータ	”	1,300
出退表示盤	”	(天井高)×0.9
発信器（出退表示用）	”	1,300
インターホン	”	1,300
外部受付用インターホン子機	”	標準図による
呼出ボタン（バリアフリースイッチ）	”	900、(400)
復帰ボタン（バリアフリースイッチ）	”	1,300
廊下表示灯（バリアフリースイッチ）	”	2,000
テレビ機器収容箱（E P S）	”	1,800
入退室管理装置（カードリーダー、暗証番号入力装置、バイオメトリクス照合装置）	”	1,300
火報受信機（複合型）、副受信機	床面～操作部	800～1,500
機器収容箱	”	800～1,500
発信機	”	800～1,500
警報ベル	”	(天井高)×0.9
表示灯	”	(天井高)×0.8
運動制御盤	”	1,500
自動開鎖装置（防火戸用）	床面～中心	1,500
ガス漏れ検知器（液化石油ガス）	”	300
”（都市ガス）	天井面～中心	(天井面)～200(壁面取付の場合)

(備考) (天井高)×0.9及び(天井高)×0.8は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。
注) 天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さでは機器の使用に支障がある場合は、監督職員と協議する。
呼出ボタン(バリアフリースイッチ)の取付高さ(400)は床に転倒した時を考慮した高さを示す。

別表1(地下部分)


○ 工 事 区 分 表

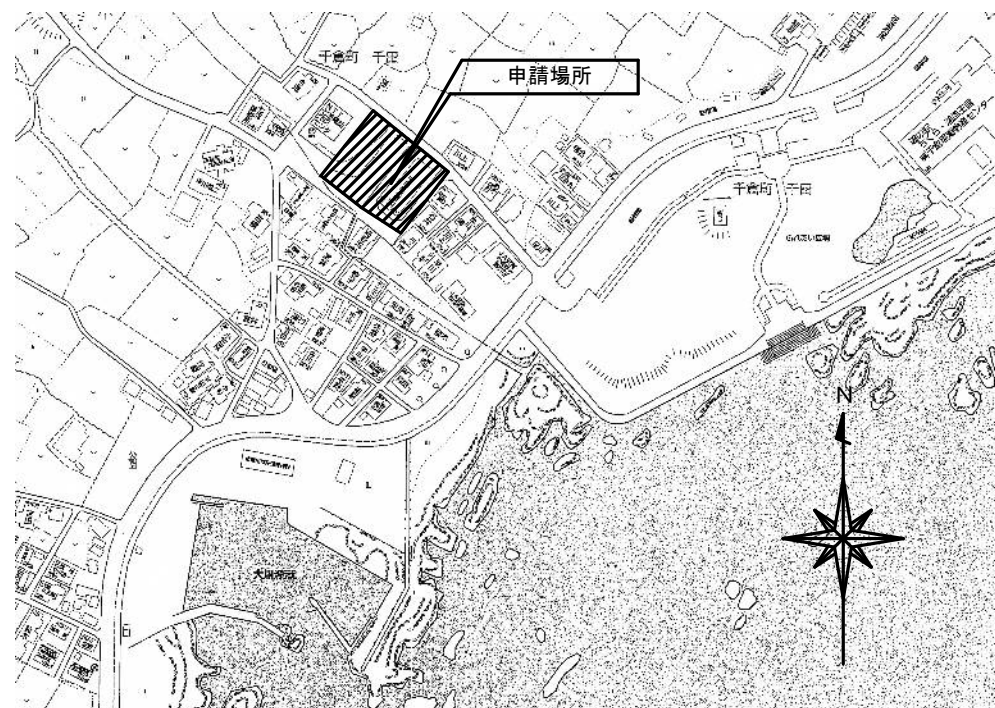
図面に記載のなき場合、各工事との取り合いは原則として下記による。

	工事内容	施工区分		
		建築	電気機械	
開口部	はり、床、壁貫通部	鉄筋補強	● ○ ○	
		スリーブ、型枠	○ ● ●	
	埋込形(分電盤、端子盤、プルボックス)	鉄筋補強	● ○ ○	
	風道、埋込形消火栓ボックス、吹出口、吸込口	スリーブ、型枠	○ ● ●	
	換気扇、大便器等		● ○ ○	
基礎	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切り込み	補強とも補強のない場合	● ○ ○	
	スリーブ穴埋め、型枠穴埋め		● ● ●	
	鉄骨、PC板等への穴開け、補強、スリーブ入れ(工場加工)		● ○ ○	
	屋 内	配電盤、制御盤、発電機、キュービクル受水槽、サービスタンク	躯体と一体化のもの 上記以外	○ ● / ● ●
	屋 外	配電盤、制御盤、キュービクル受水槽、消火水槽	鉄筋基礎 無筋基礎	○ ● ● ○ ○ ○
点検口	屋 上	テレビアンテナ、避雷針	躯体と一体化のもの 上記以外	● ○ ● ○ ● ●
	架台、アンカーボルト			○ ● ●
	床、天井、壁			● ○ ○
	配線ビット、トレンチビット			● ○ ○
				○ ● / ● ●
その他	機器付属の制御盤(接地共)	一次側二次側	○ ● ○ ● ● ●	
	制御盤と動力盤の間(接地共)	電源供給	○ ● ○	
	天井吊り型FOU及び全熱交換機換気(接地共)	操作回路	配管配線()	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
		電源供給		○ ● ○
		操作回路	配管配線()	○ ○ ○ ○ ○ ○
煙感知器から運動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配線			○ ● ○	
その他	防油堤		● ○ ○	
	インサート、吊りボルト		○ ● ●	
	換気扇枠		○ ○ ○	
外部取り付けギャラリー(ダクト、チャンバー接続フランジを含む)			● ○ ○	

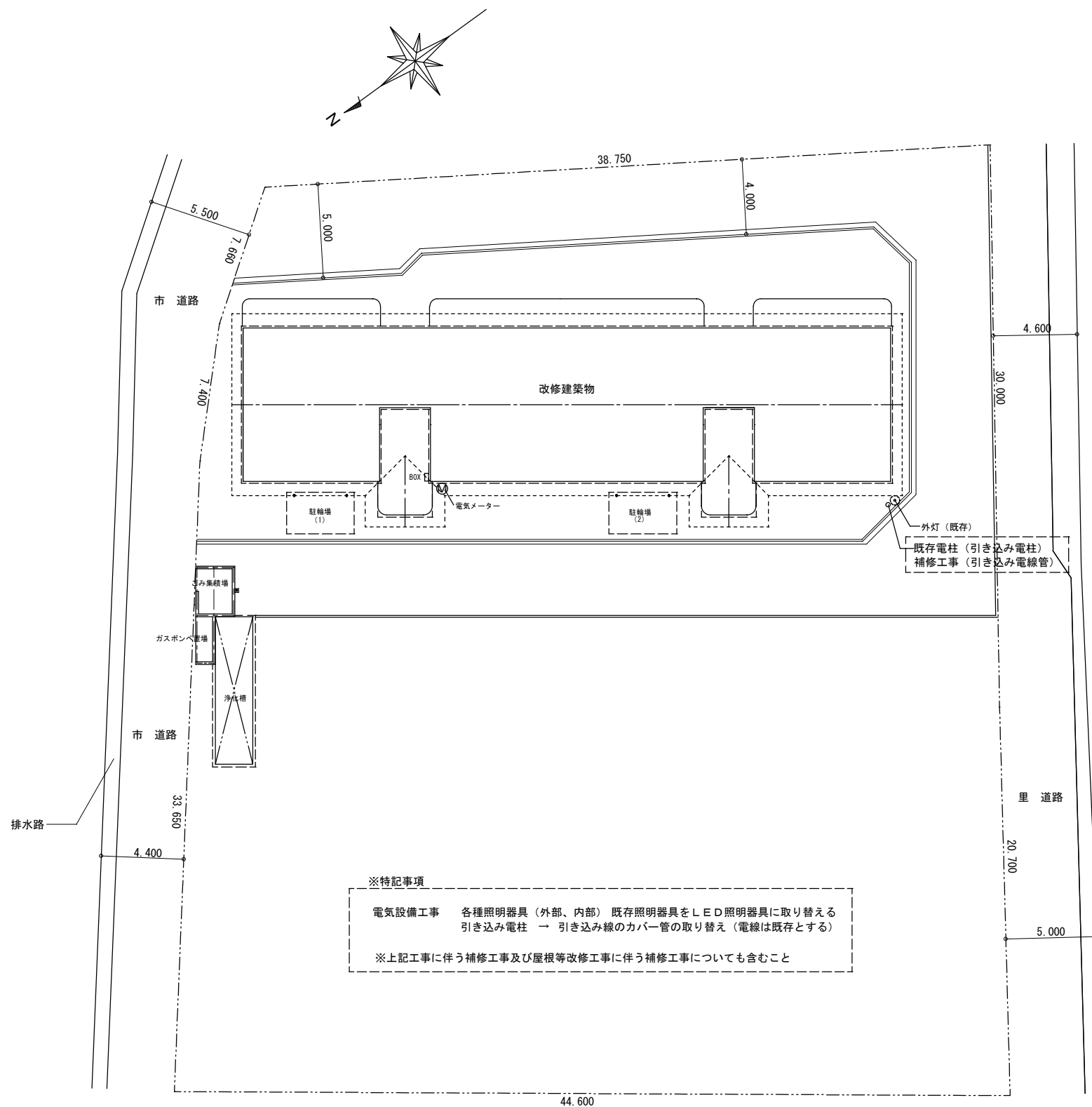
○ 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

	一級建築士事務所	一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号 〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718 一級建築士 第203776号 荒井 恭一	市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面	電気設備工事特記仕様書 (2)	年 月 日	NO E-02
					2026.2	



案 内 図

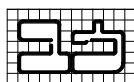


※特記事項

電気設備工事 各種照明器具（外部、内部）既存照明器具をLED照明器具に取り替える
引き込み電柱 → 引き込み線のカバー管の取り替え（電線は既存とする）

※上記工事に伴う補修工事及び屋根等改修工事に伴う補修工事についても含むこと

配 置 図 S = 1 / 2 0 0



一級建築士事務所

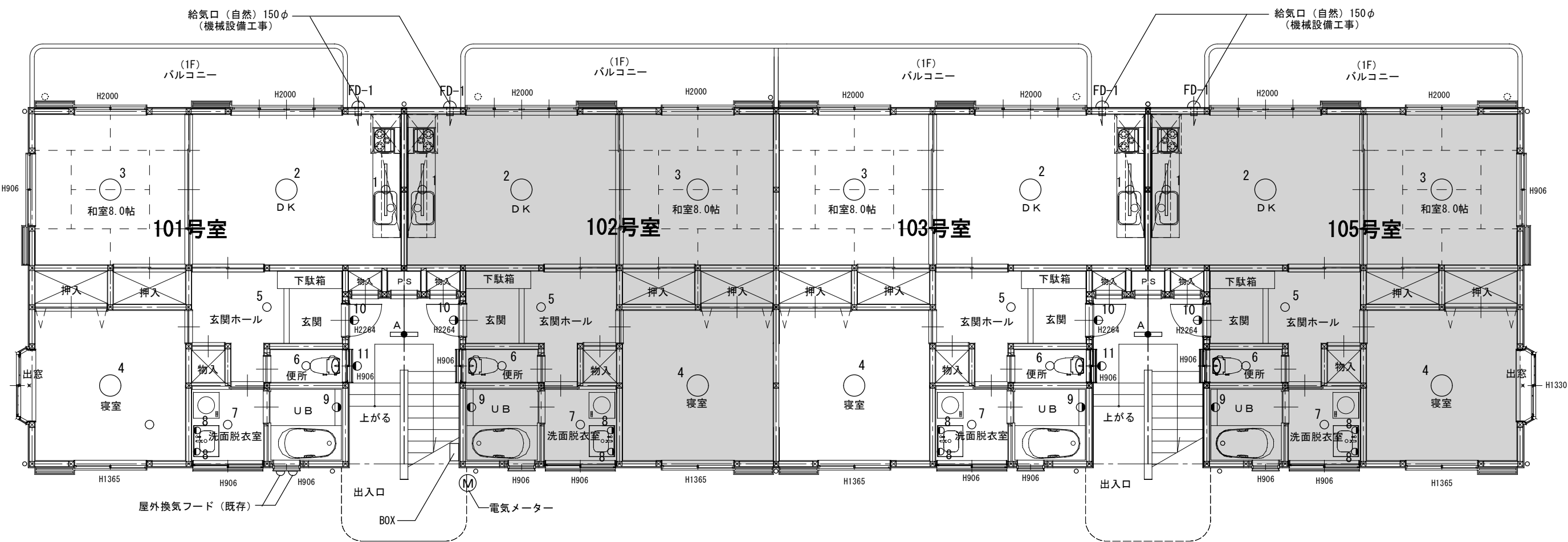
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第203776号 荒井 恭 一

市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

電気設備図
案内図 配置図
A3判：S=1/282

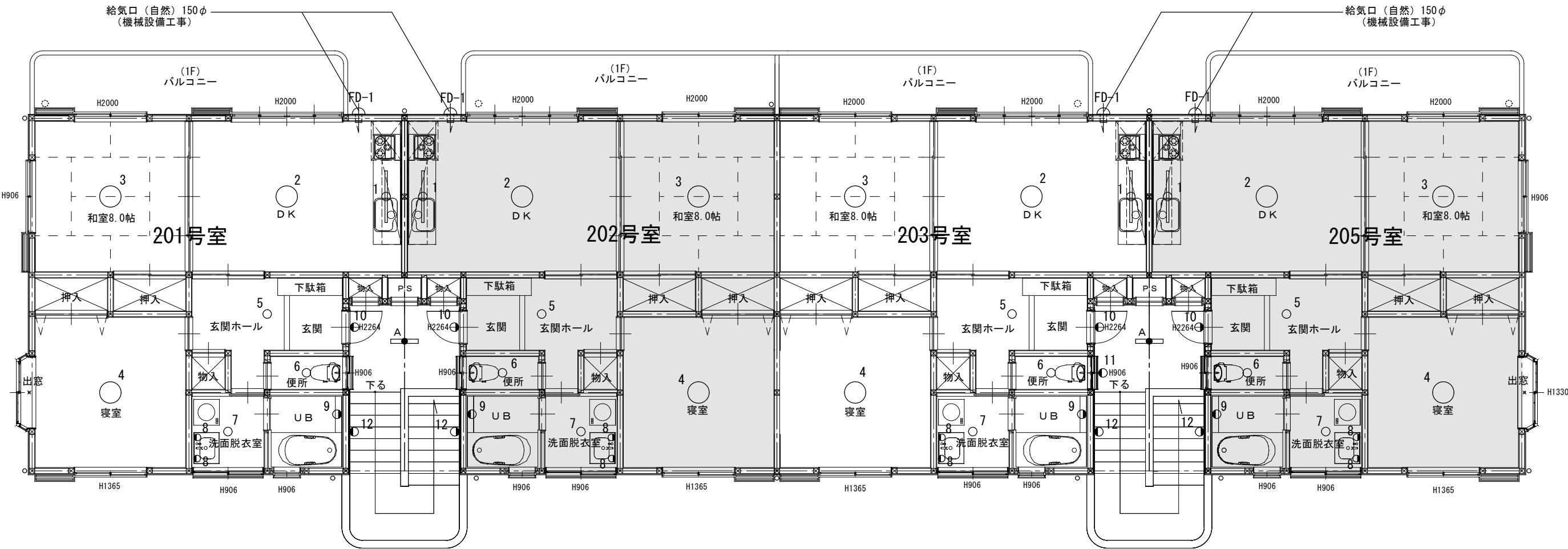
年 月 日
2026. 2

NO E-03




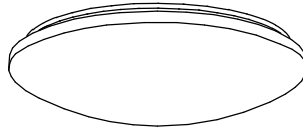
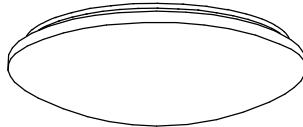
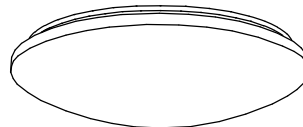
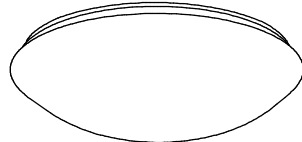
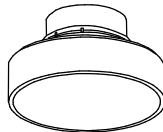





器具リスト ※配線及びスイッチ等については既存とする ただし、劣化状況等により支障がある場合については打ち合わせとする

NO	室名	メーカー、品番等		101号室	102号室	103号室	105号室
1	流し元灯	パナソニック キッチンライト (棚下取付型) LGB52212K (L1200タイプ) スイッチ付	P603	○	○	○	○
2	DK	パナソニック シーリングライト 調光 (単色タイプ) LGC5113DK + WG5005W (引掛シーリング) 500φ 専用リモコン付	P507	○	○	○	○
3	和室8.0帖	パナソニック シーリングライト 調光 (単色タイプ) LGC4113VK 500φ 専用リモコン付	P507		○		○
4	寝室	パナソニック シーリングライト 調光 (単色タイプ) LGC4113DK 500φ 専用リモコン付	P507	○		○	○
5	玄関ホール	パナソニック 小型シーリングライト LGB52604 370φ	P519	○	○	○	○
6	便所	パナソニック ダウンシーリング LGB51453 110φ	P530	○	○	○	○
7	洗面脱衣室	パナソニック 洗面・浴室シーリングライト LGW51704W 330φ	P610	○	○	○	○
8	洗面化粧台	パナソニック LED電球 (ボール電球タイプ) LDG6L-G/95W 95mm径 (洗面化粧台は既存とする)	C-46	○	○	○	○
9	UB	パナソニック 洗面・浴室シーリングライト /ブラケット LGW85016F 140φ	P611	○	○	○	○
10	玄関 (外灯)	パナソニック ブラケット XLGE5013 145φ	P658	○	○	○	○
11	階段 (外灯)	パナソニック ブラケット・軒下シーリングライト LGW85066 220φ	P665	○		○	
12	階段 (外灯)	パナソニック ブラケット・軒下シーリングライト LGW85066 220φ	P665				
A	1階 階段踊場	既存非常用照明器具 (既存とする)					



器具リスト ※配線及びスイッチ等については既存とする ただし、劣化状況等により支障がある場合については打ち合わせとする

NO	室名	メーカー、品番等	201号室	202号室	203号室	205号室
1	流し元灯	パナソニック キッチンライト (棚下取付型) LGB52212K (L1200タイプ) スイッチ付	P603			
2	DK	パナソニック シーリングライト 調光 (単色タイプ) LGC5113DK + WG5005W (引掛シーリング) 500φ 専用リモコン付	P507			
3	和室8.0帖	パナソニック シーリングライト 調光 (単色タイプ) LGC4113VK 500φ 専用リモコン付	P507			
4	寝室	パナソニック シーリングライト 調光 (単色タイプ) LGC4113DK 500φ 専用リモコン付	P507			
5	玄関ホール	パナソニック 小型シーリングライト LGB52604 370φ	P519			
6	便所	パナソニック ダウンシーリング LGB51453 110φ	P530			
7	洗面脱衣室	パナソニック 洗面・浴室シーリングライト LGW51704W 330φ	P610			
8	洗面化粧台	パナソニック LED電球 (ボール電球タイプ) LDG6L-G/95W 95mm径 (洗面化粧台は既存とする)	C-46			
9	UB	パナソニック 洗面・浴室シーリングライト /ブラケット LGW85016F 140φ	P611			
10	玄関 (外灯)	パナソニック ブラケット XLGE5013 145φ	P658			
11	階段 (外灯)	パナソニック ブラケット・軒下シーリングライト LGW85066 220φ	P665			
12	階段 (外灯)	パナソニック ブラケット・軒下シーリングライト LGW85066 220φ	P665			
A	2階 階段踊場	既存非常用照明器具 (既存とする)				

N0 1	L E D 流 し 元 灯	8	N0 2	D K LEDシーリング ライト	8	N0 3	和室8.0帖 LEDシーリング ライト	6	N0 4	寝 室 LEDシーリング ライト	6
<p>パナソニック LGB52212KLE1 LEDキッチンライト 40形直管蛍光灯1灯相当</p>  <p>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束2205lm、消費電力23W、電圧100V 拡散タイプ、棚下取付専用 カバー：プラスチック（乳白） 両面化粧タイプ、スイッチ付 L1200タイプ</p>			<p>パナソニック LGC5113DK</p>  <p>昼光色（6200K）、Ra83 器具光束5499lm、消費電力40.6W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットF 光源寿命40000時間（光束維持率70%） カバー：アクリル（乳白つや消し） リモコンで〈100%～5%〉調光、専用リモコン送信器同梱</p>			<p>パナソニック LGC5113VK</p>  <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵 温白色（3500K）、Ra83 器具光束4500lm、消費電力35.9W、電圧100V ソフトターン方式、カチットF、竿縁天井取付アダプタ対応 光源寿命40000時間（光束維持率70%） カバー：アクリル（乳白つや消し） リモコンで〈100%～5%〉調光、専用リモコン送信器同梱</p>			<p>パナソニック LGC4113DK</p>  <p>昼光色（6200K）、Ra83 器具光束4899lm、消費電力36.6W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットF 光源寿命40000時間（光束維持率70%） カバー：アクリル（乳白つや消し） リモコンで〈100%～5%〉調光、専用リモコン送信器同梱</p>		
N0 5	玄関ホール LEDシーリング ライト	8	N0 6	便 所 LEDシーリング ライト	8	N0 7	洗面脱衣室 LEDシーリング ライト	8	N0 8	洗面化粧台 LED電 球	16
<p>パナソニック LGB52604LE1</p>  <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵、拡散タイプ 昼白色（5000K）、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率70%） 器具光束1760lm、消費電力15W、電圧100V ソフトターン方式、カチットF カバー：アクリル（乳白つや消し）</p>			<p>パナソニック LGB51453LE1 LEDシーリングライト 60形電球1灯器具相当</p>  <p>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束580lm、消費電力6、電圧100V シーリングユニ方式 カバー：プラスチック（ホワイ）</p>			<p>パナソニック LGW51704WCF1 LEDシーリングライト 30形丸形蛍光灯1灯器具相当</p>  <p>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束965lm、消費電力10.7W、電圧100V 防湿型・防雨型、拡散タイプ、ネジ込み方式 プラスチック（ホワイ） カバー：アクリル（乳白）</p>			<p>パナソニック LDG6L-G/95W LED電球 60形相当 （ボール電球タイプ）</p>  <p>95mm径 ※洗面化粧台は既存とする</p>		
N0 9	U B LEDシーリング ライト	8	N0 10	玄関（外灯） LEDポーチライト	8	N011、12	階段（外灯） LEDポーチライト	6	N0		
<p>パナソニック LGW85016F ポーチライト 40形電球1灯器具相当</p>  <p>電球色（2700K）、Ra80、光源寿命40000時間（光束維持率70%） 器具光束365lm、消費電力4.3W、電圧100V 防湿型・防雨型、ネジ込み方式、天井直付型・壁直付型、カバーキャッチ付 カバー：ガラス（乳白） プラスチック（ホワイ）</p>			<p>パナソニック シーリングライトXLGE5013CE1 シーリングライト 100形電球1灯器具相当</p>  <p>LEDフラットランプφ70 クラス700 1灯（口金GX53-1） 昼白色（5000K）、Ra83 器具光束700lm、消費電力7.7W、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型、防雨型、ネジ込み方式 プラスチック（ホワイ）、カバー：アクリル（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率70%）</p>			<p>パナソニック LGW85066LE1 LEDポーチライト 60形電球1灯器具相当</p>  <p>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束450lm、消費電力6.2W、電圧100V 拡散タイプ、防湿型・防雨型、天井直付型・壁直付型、ネジ込み方式 カバー：アクリル（乳白）</p>					

[illegible]

[illegible]

別表-3

工 事 区 分 表

工 事 内 容		施 工 区 分			
		建築	電気	機械	
開 口 部	はり、床、壁貫通部	鉄筋補強	○	・	・
		スリーブ、型枠	・	○	○
	埋込形(分電盤、端子盤、ブルボックス)、風道	鉄筋補強	○	・	・
	埋込形消火栓ボックス、吹出口、吸込口、換気扇、大使器等	スリーブ、型枠	・	○	○
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切込み	補強とも	○	・	・
基 礎		補強のない場合		○	○
	スリーブ穴埋め、型枠穴埋め		○	○	○
	鉄骨、PC板等への穴開け、補強、スリーブ入れ(工場加工)		○	・	・
	屋内	躯体と一体のもの	○	・	・
	配電盤、制御盤、キュービクル	上記以外	・	○	○
堤 防	屋外	鉄筋基礎	・	○	○
	受水槽、サービスタンク	無筋基礎	・	・	・
	配電盤、制御盤、キュービクル	躯体と一体のもの	○	・	・
	受水槽、消火水槽	上記以外	・	○	○
	屋上		・	○	○
点 検 口	架台、アンカーボルト		・	○	○
			・	・	・
	床、天井、壁		○	・	・
			・	・	・
	配線ビット、トレンチビット		○	・	・
配 管 配 線			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
線	機器付属の制御盤（接地とも）	一次側	・	○	・
		二次側	○	○	○
		電源供給	・	○	・
	制御盤と動力盤の間（接地とも）	操作 配管	・	・	・
		回路 配線（ ）	・	・	・
線	電源供給		・	○	・
	天井吊り形FUC及び全熱交換形換気扇（接地とも）	操作 配管	・	・	・
		回路 配線（ ）	・	・	・
	煙感センサーから運動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配線		・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画	防油堤		○	・	・
	インサート、吊りボルト		○	○	○
	換気扇格		・	・	・
	外部取り付け付付がり(ダクト、チャンパー接続用フランジを含む)		・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
防 火 区 画			・	・	・

機 材 等	

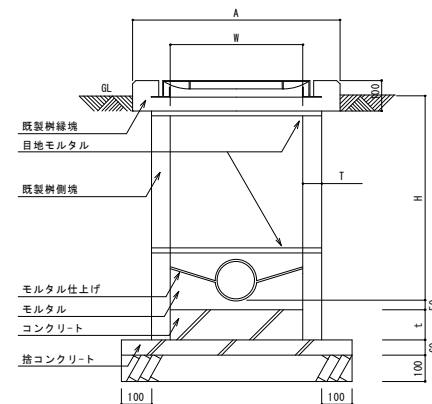
冷媒配管支持要領

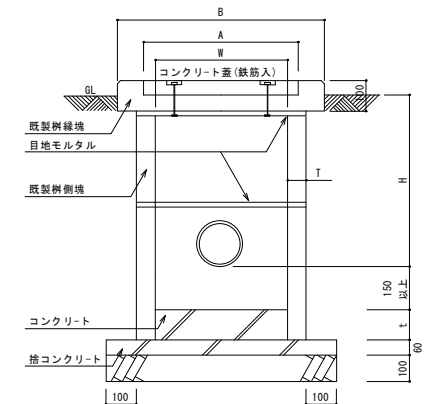
土間下配管詳細図

土間下地中配管は、9φ鉄筋（タールエポキシ塗リ）にて、U字型支持のこと。
支持間隔は、仕様による。

吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。
棒鋼を土間鉄筋に結束する場合は、直接、接しないよう電極防止策を施すこと。
支持間隔は、仕様による。

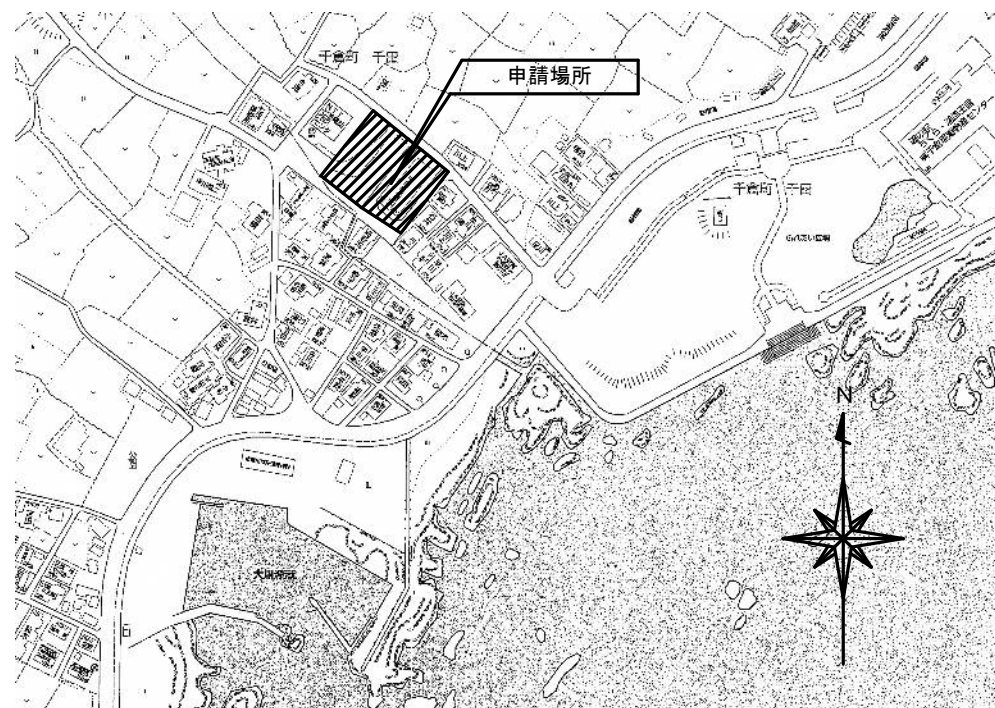
吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。
棒鋼を土間鉄筋に仮止めする場合は、直接、接しないよう電極防止策を施すこと。
支持間隔は、仕様による。

インバート樹 施工要領図		S-1	S-2
			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 蓋は鋼鉄製防臭蓋とする。 (鎮付き、汚水マーク入り) 2. 既製樹側壁、縁境は、すべて鉄筋入りとする。 3. 既製樹側壁、縁境は、ズレを防止する構造とする。 			
寸法		H=600以下 S-1	H=600超 S-2
W		450 × 450	600 × 600
T		45	50
t		100	120
A		700	850

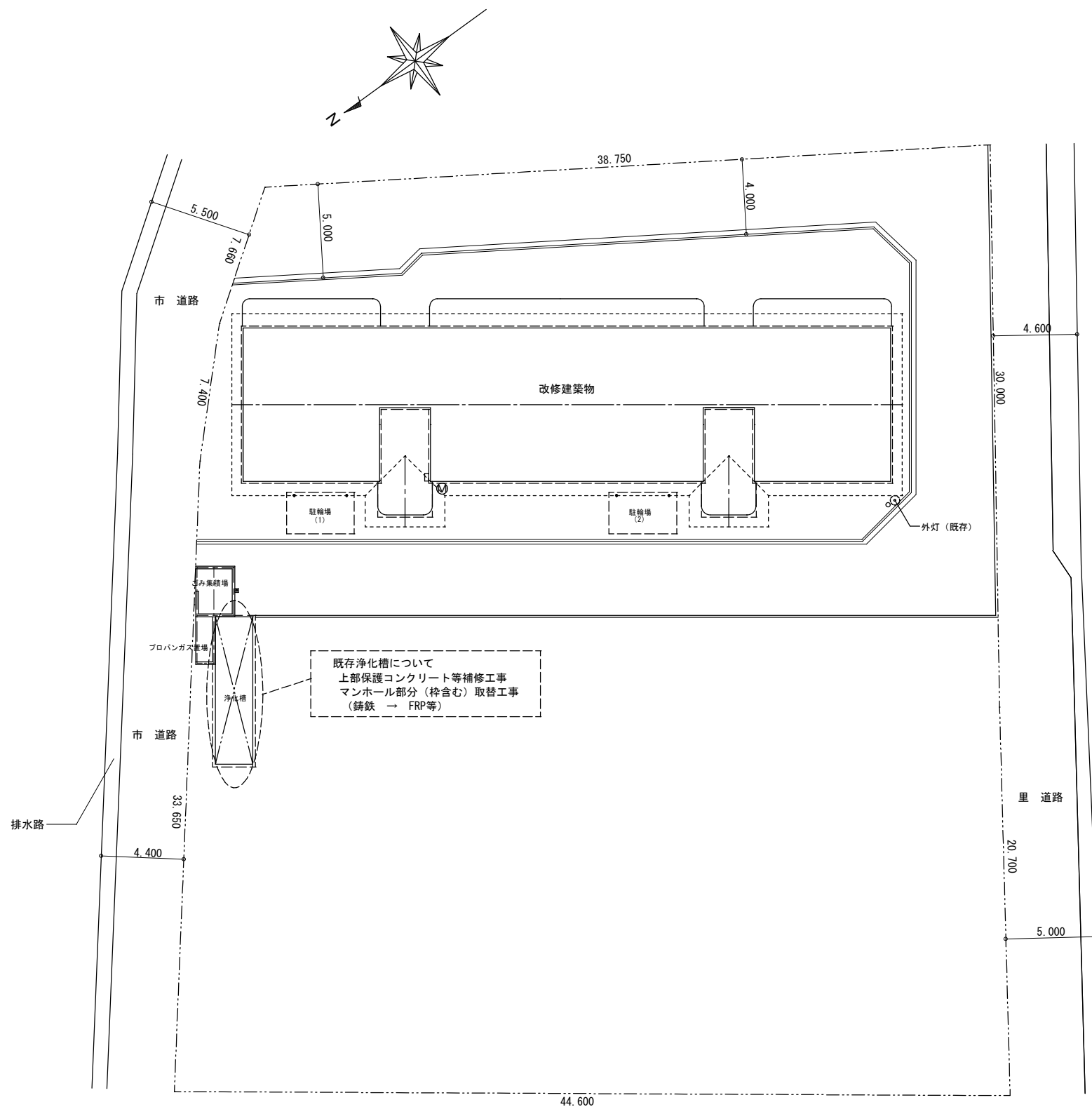
ため樹 施工要領図		R-1	R-2
			
<ol style="list-style-type: none"> 1. コンクリート蓋は、既製樹用とし、鉄筋入とする。 2. 既製樹側壁、縁境は、すべて鉄筋入りとする。 3. 鉄筋蓋を使用する場合は汚水樹に準ずる。 			
寸法		H=600以下 R-1	H=600超 R-2
W		450 × 450	600 × 600
A		520 × 520	670 × 670
B		650 × 650	800 × 800
T		45	50
t		100	120

樹蓋仕様表		名称	記号	表内径φ	受枠寸φ	安全荷重	備考
防臭中耐蓋		MHA-45	450 φ	560	1500kg以上		
防臭中耐蓋		MHA-60	600 φ	710	1500kg以上		
防臭重耐蓋		MHD-45	450 φ	560	5000kg以上		
防臭重耐蓋		MHD-60	600 φ	710	5000kg以上		

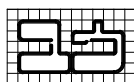
樹標準構成表		W	H	側壁				既製縁境
				150H	300H	450H	600H	
450		250 ~ 400						1
450		400 ~ 550	1					1
450		560 ~ 700		1				1
450		710 ~ 850				1		1
600		530 ~ 680		1	1			1
600		690 ~ 830	1	1				1
600		840 ~ 980					2	1
600		990 ~ 1130	1				2	1
600		1140 ~ 1280		1			2	1
600		1290 ~ 1430	1	1			2	1



案 内 図



配 置 図 S = 1 / 2 0 0



一級建築士事務所

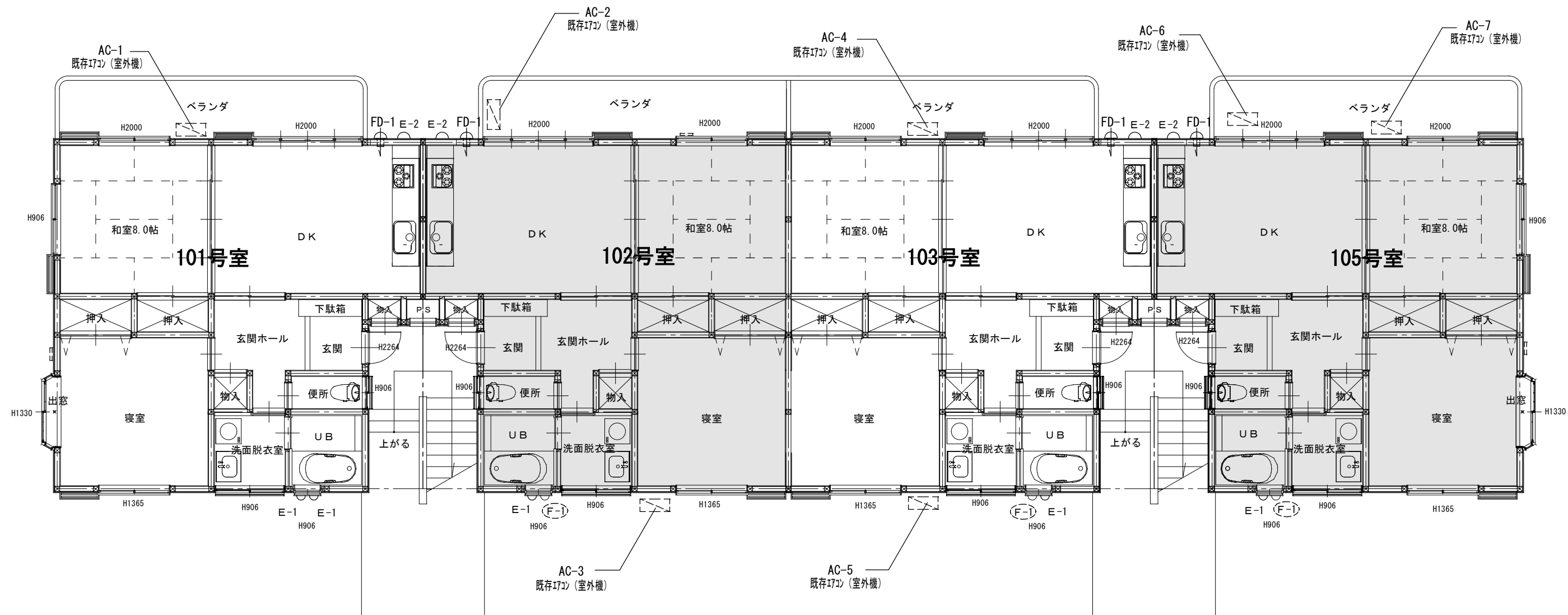
一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第203776号 荒井 恭 一

市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

機械設備工事	
案内図	配置図
A3判 : S=1/282	

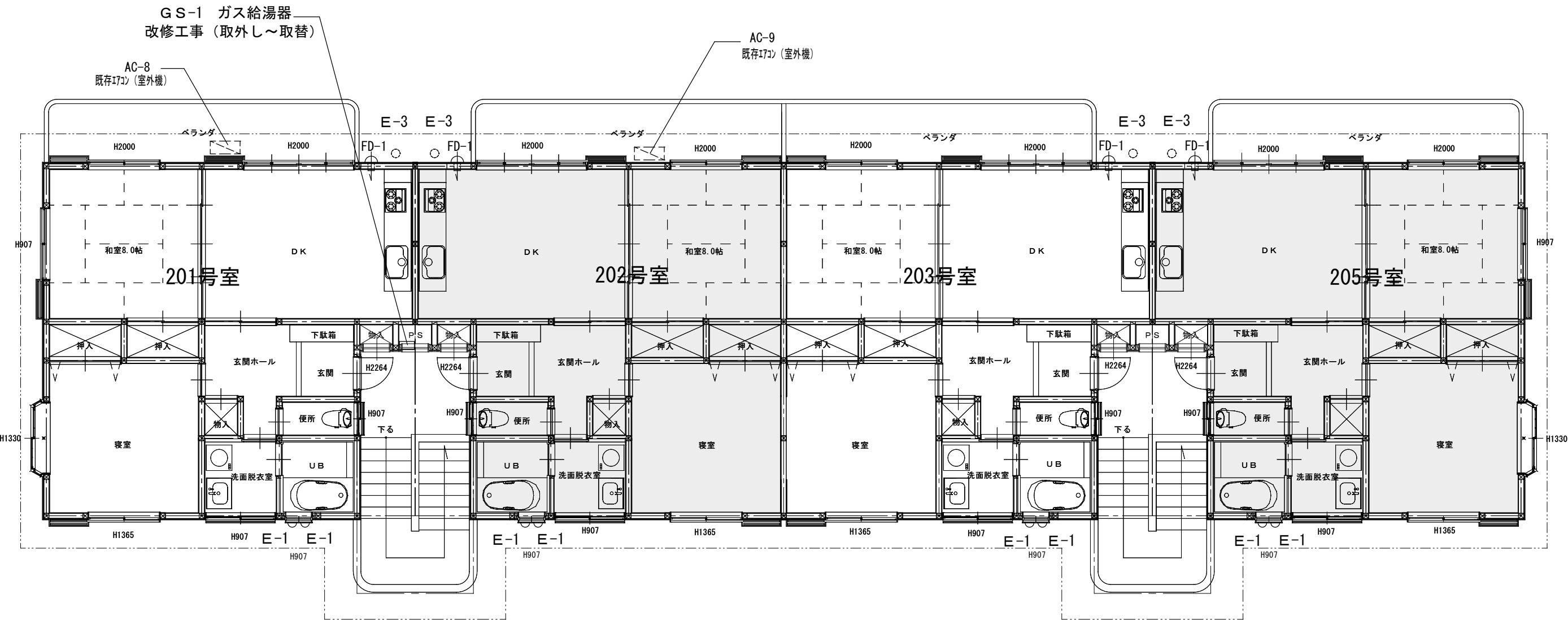
年 月 日
2026. 2

NO M-04



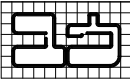
凡 例

記号	室名	メーカー、品番等	101号室	102号室	103号室	105号室
FD-1	DK	給気口（自然）MITSUBISHI ELECTRIC（三菱）給気ユニット P-18QR2（150φ） 屋外フード P-18VS4-BL（SUS） P369	○	○	○	○
※	外壁部分にあるキャップ、各種器具等については打ち合わせとする（改修工事に含むこと）					
※	AC-1 ～ AC-7 既存エアコン 室外機（住人所有） 改修工事 取り外し～取付（外壁等改修工事に伴うもの）					
	改修工事に伴う補修工事は含むこと					
	ただし、既存品の経年劣化等の状況により改修工事（取り外し～取付）が困難と思われる場合については打ち合わせとする					
※	E-1	既存屋外フード（SUS制）外壁 100φ（2017年取付） ——— 既存のものを再利用する 改修工事 取り外し～取付（外壁等改修工事に伴うもの）				
※	E-2	既存屋外フード（SUS制）外壁 150φ（2017年取付） ——— 既存のものを再利用する 改修工事 取り外し～取付（外壁等改修工事に伴うもの）				
※	F-1	既存屋外フード（SUS制）外壁 100φ（年度不明取付） ——— 取替え 深形フード（SUS製） P-13VS4-BL（100Φ） P348		★	★	★



凡 例

記号	室名	メーカー、品番等	201号室	202号室	203号室	205号室
FD-1	DK	給気口（自然）MITSUBISHI ELECTRIC（三菱）給気ユニット P-18QR2（150φ）屋外フード P-18VS4-BL（SUS） P369	○	○	○	○
GS-1	201号室	ガス給湯器 既存ガス給湯器 取外し～取替 ノーリツ ガス給湯器 GQ-2039WS-1（20号）	○			
※	外壁部分にあるキャップ、各種器具等については打ち合わせとする（外壁等改修工事に含む）					
※	AC-8 ～ AC-9 既存エアコン 室外機（住人所有）改修工事 取り外し～取付（外壁等改修工事に伴うもの）					
	改修工事に伴う補修工事は含むこと					
	ただし、既存品の経年劣化等の状況により改修工事（取り外し～取付）が困難と思われる場合については打ち合わせとする					
※	E-1	既存屋外フード（SUS制）外壁 100φ（2017年取付） —> 既存のものを再利用する 改修工事 取り外し～取付（外壁等改修工事に伴うもの）				
※	E-3	既存屋外フード（SUS制）軒天 150φ（2017年取付） —> 既存のものを再利用する				



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第 203776 号 荒井 恭一

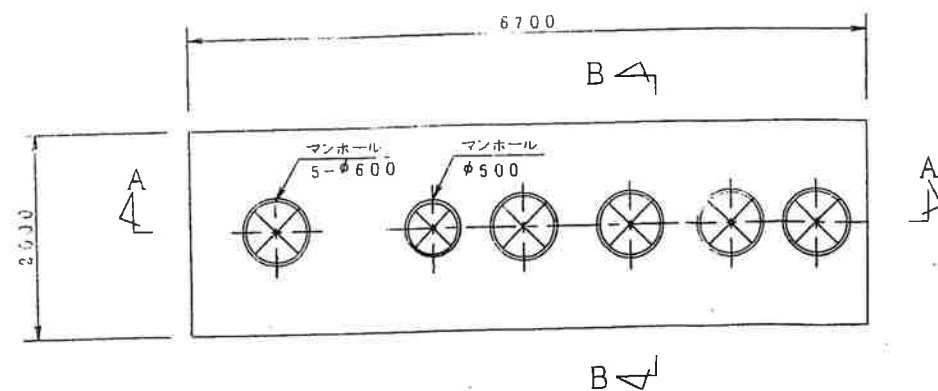
市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

2階 機械設備図
（換気、ガス給湯器、エアコン等）

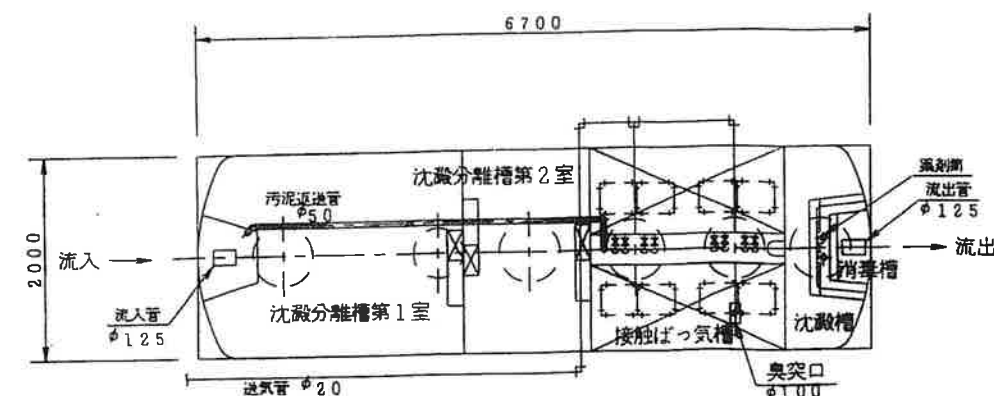
年 月 日

2026.2

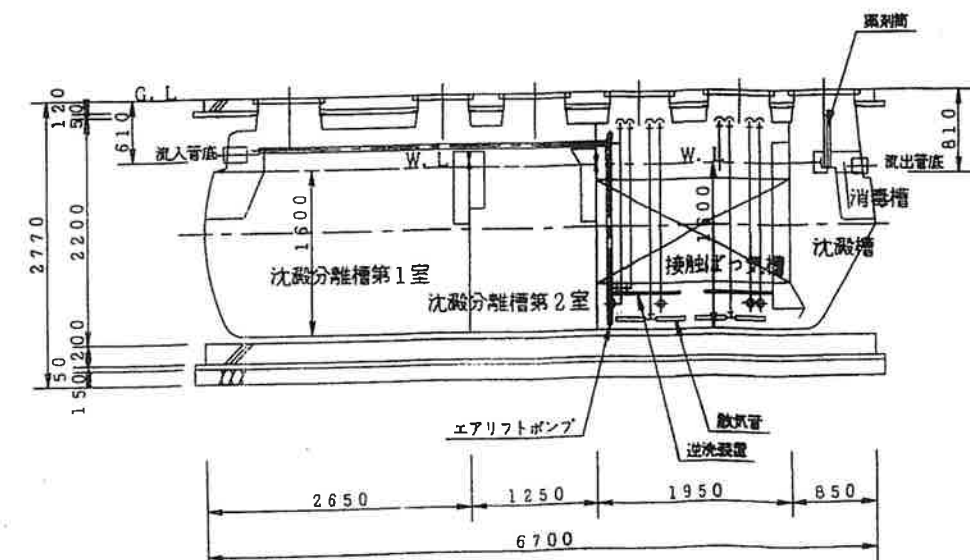
N0 M-06



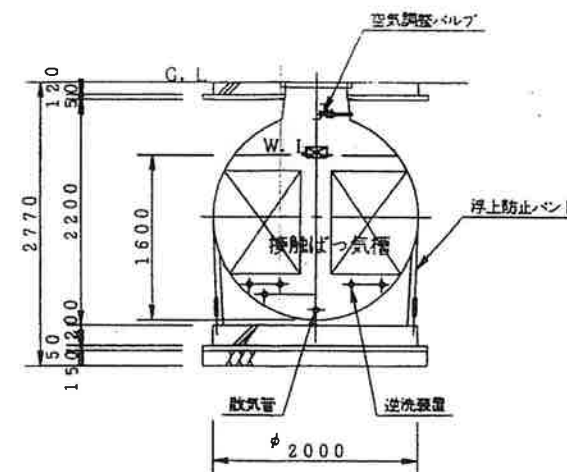
頂板開口図 S=1/50



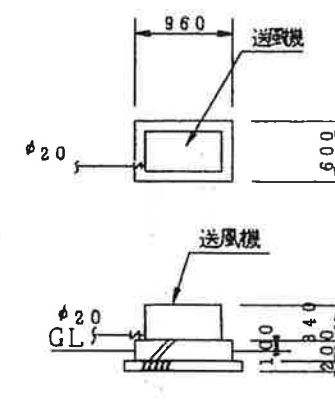
平面図 S=1/50



A-A断面図 S=1/50

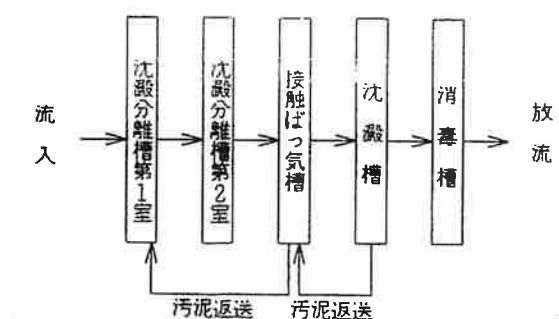


B-B断面図 S=1/50



送風機 平面断面図 S=1/50

送風機カバーは、防音タイプとする。
(内面ウレタン貼り付けとする。)
送風機カバーは、耐塩塗装とする。

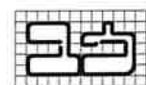


フローシート

特記 1. 円筒槽の補強リングは、FRP製とする。
2. 接触ばっ気槽の蓋は、マンホールとする。

仕様	
分類	合併処理
処理計画人員	30 人
1人当り汚水量	0.20 m ³ /人日
処理計画汚水量	6.000 m ³ /日
流入汚水水质	BOD200ppm
放流水水质	BOD 20 ppm除去率 90%以上
処理方式	分離接触ばっ気方式
有効容量 m ³	
沈殿分離槽第1室	6.821
沈殿分離槽第2室	3.367
接触ばっ気槽	5.253
沈殿槽	1.514
消毒槽	0.098
電気機器仕様	
送風機	100V-単相-300W 1台

注記
臭突工事は、別途工事とする。
マンホールは、防臭ロック式とする。



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第 203776 号 荒井 恭一

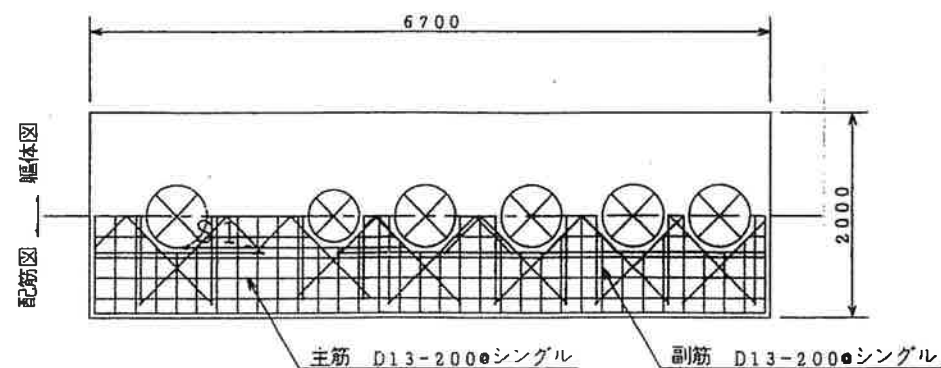
市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

既存浄化槽図 (30人槽) (参考図)
※FRP浄化槽 SNH-30DN

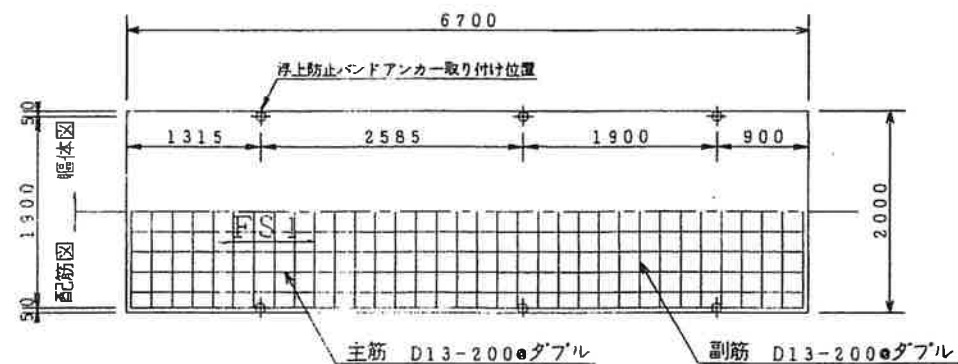
年 月 日

2026. 2

NO M-07



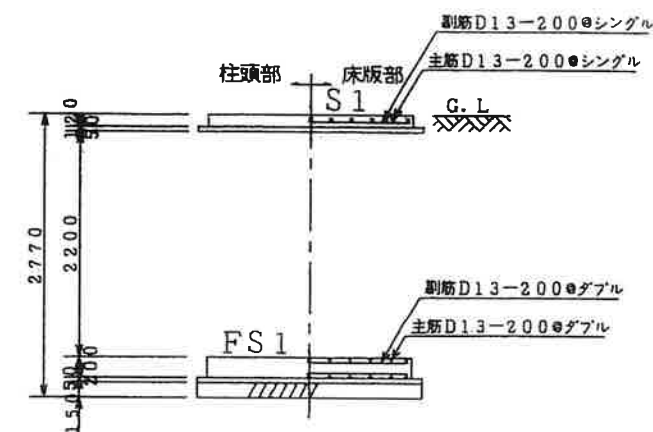
頂版スラブ配筋図 S=1/50



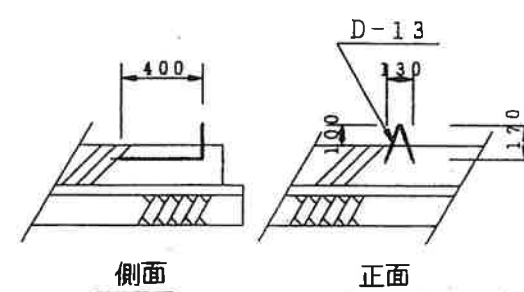
基礎スラブ配筋図 S=1/50

共通事項

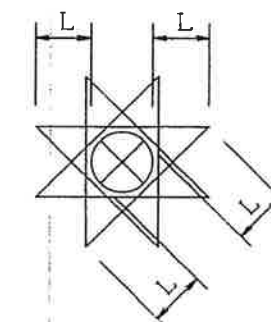
凡 例	-----D10 x -----D13 o -----D16
鉄 筋	SD-295A 使用とする。
コンクリート	4Fc=210 kg/cm ² とする。
スラブ荷重	T-0
幅止め筋	D10-1000@ とする。
そ の 他	詳細は現場係員の指示による。



断面配筋図 S=1/50



浮上防止バンドアンカー

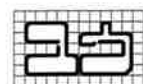


開口部補強筋 l-D13
定着長さ L=40d
開口部補強筋

スラブリスト

スラブ	スラブ厚	位置	主筋	副筋	備考
S1	120	全断面	D13-200@	D13-200@	シングル
FS1	200	全断面	D13-200@	D13-200@	ダブル

スラブ筋等の重ねつぎで長さは小径の40d以上とする。



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第 203776 号 荒井 恭一

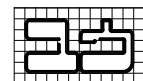
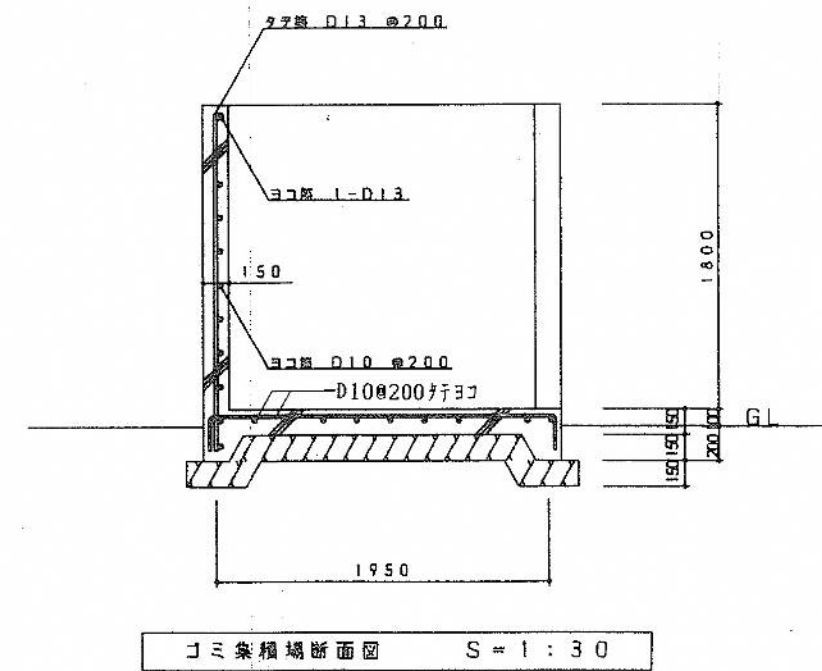
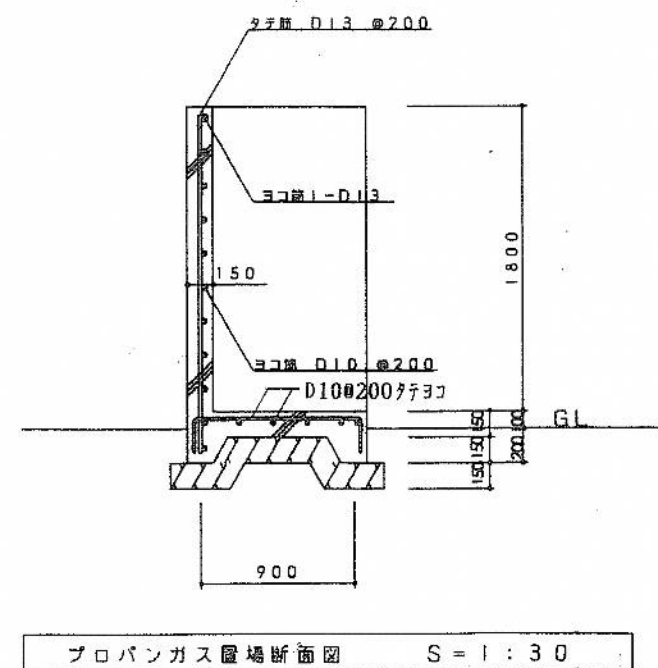
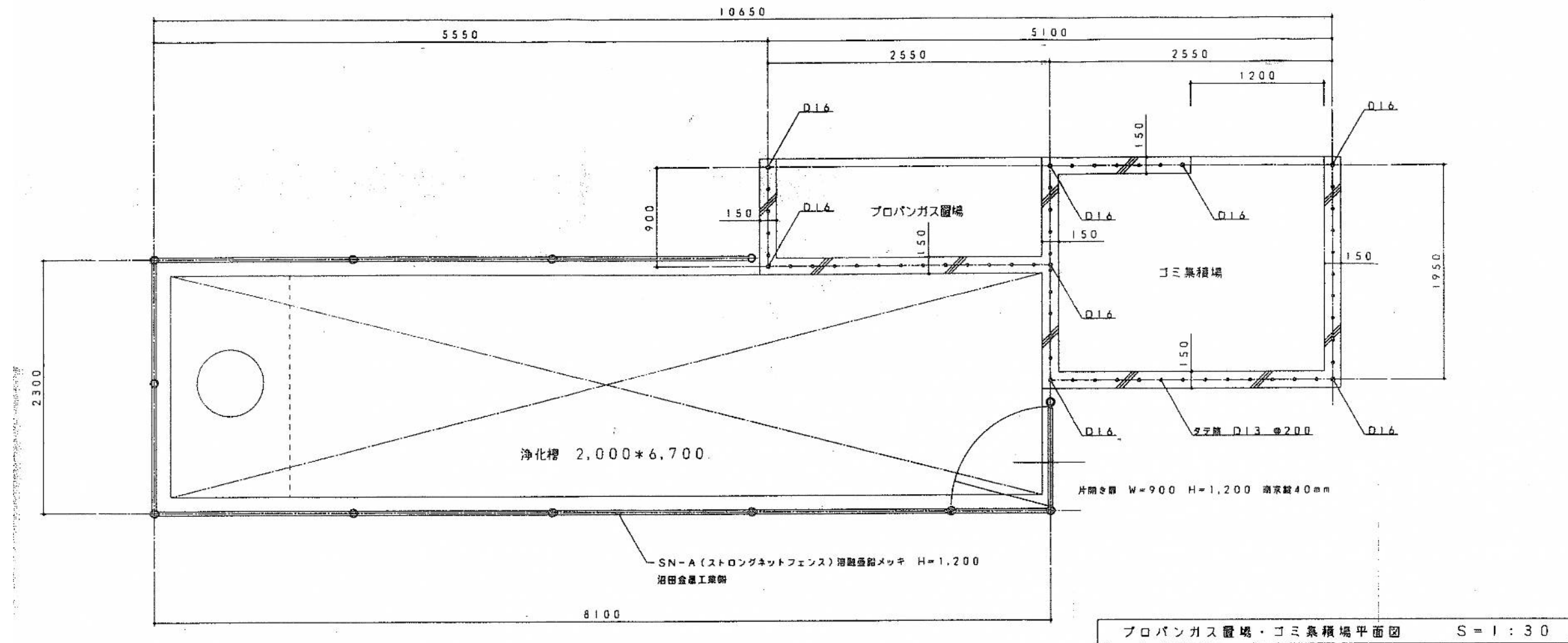
市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

既存浄化槽保護コンクリート図 (参考図)

年 月 日

2026. 2

NO M-08



一級建築士事務所

一級建築士事務所 千葉県登録 第 1-2209-2531 号
〒295-0023 千葉県南房総市千倉町川口288 TEL0470-43-1718
一級建築士 第 203776 号 荒井 恭一

市営住宅 千田黒潮団地屋根等 改修工事 設計図面

既存浄化槽囲い壁図(参考図)

年 月 日

2026.2

N0 M-09